

Medical Mycology Journal



Program and Abstract Book for The 55th Annual Meeting of the Japanese Society for Medical Mycology



“The bridge between clinicians and researchers”

Vol. 52, Supplement 1, 2011

日本医真菌学会

Japanese Society for Medical Mycology

www.jsmm.org

ISSN 2185-6486

登録カードご記入のお願い

あらかじめ、下記登録カードにご記入の上、学会当日受付にて学会参加費とあわせてご提出ください。

第 55 回日本医真菌学会学術集会
会長 比留間政太郎

参加登録カード

区分	<input type="checkbox"/> 会員 (¥15,000) <input type="checkbox"/> 非会員 (¥17,000) <input type="checkbox"/> 学生・外国人留学生 (証明書提示必要) (¥7,000) (いずれかを選び <input type="checkbox"/> にレ点をご記入願います)
ご氏名	
ご所属	
ご住所	

Program and Abstract Book
for
The 55th Annual Meeting of the Japanese Society for Medical Mycology
Tokyo, October 21-22, 2011

第 55 回
日本医真菌学会学術集会
プログラム・抄録集

第55回日本医真菌学会学術集会概要

会 長：比留間政太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院 皮膚・アレルギー科教授

事務局長：小川祐美 順天堂大学医学部皮膚科学講座 准教授

事務局：順天堂大学医学部附属練馬病院 皮膚・アレルギー科

〒177-0033 東京都練馬区高野台 3-1-10

TEL: 03-5923-3111 内 6037 FAX: 03-5923-3217

E-mail: mhiruma@juntendo-nerima.jp

会 期：2011年10月21日(金)、22日(土)

会 場：椿山荘・東京

〒112-8680 東京都文京区関口 2-10-8 TEL: 03-3943-1111(代表)

テ ー マ：「基礎から臨床へ、臨床から基礎への提案」

“The bridge between clinicians and researchers”

会員総会：2011年10月21日(金) 8:30～9:30

椿山荘 プラザ5階A会場「オリオン1」

ウェルカムパーティー：2011年10月20日(木) 19:00～(要・事前登録)

椿山荘 プラザ1階E会場「ギャラクシー」

懇親会：2011年10月21日(金) 19:00～

フォーシーズンズホテル椿山荘1階「ボールルーム」

フェアウエル・パーティー：2011年10月22日(土) 17:00～

椿山荘タワー棟7階「つばき」

日本医真菌学会総会の会長と開催地

回数	開催年度	会長	開催地	回数	開催年度	会長	開催地
第1回	昭和32年	堂野前 維摩郷 (阪大)	東京都	第29回	昭和60年	松崎 統 (国立別府病院)	別府市
第2回	昭和33年	北村 包彦 (東大)	東京都	第30回	昭和61年	高橋 伸也 (秋田大)	秋田市
第3回	昭和34年	青山 進午 (名大)	名古屋市	第31回	昭和62年	高橋 久 (帝京大)	東京都
第4回	昭和35年	秋葉 朝一郎 (東大)	東京都	第32回	昭和63年	佐藤 良夫 (新潟大)	新潟市
第5回	昭和36年	高橋 吉定 (東北大)	仙台市	第33回	平成元年	名嘉真 武男 (琉球大)	那覇市
第6回	昭和37年	土屋 毅 (順大)	東京都	第34回	平成2年	山口 英世 (帝京大)	神奈川県 中郡大磯町
第7回	昭和38年	大原 一枝 (関西医大)	大阪市	第35回	平成3年	鈴木 茂生 (東北薬大)	仙台市
第8回	昭和39年	樋口 謙太郎 (九大)	福岡市	第36回	平成4年	利谷 昭治 (福岡大)	福岡市
第9回	昭和40年	野口 義圀 (横浜市大)	横浜市	第37回	平成5年	中嶋 弘 (横浜市大)	横浜市
第10回	昭和41年	岩田 和夫 (東大)	東京都	第38回	平成6年	発地 雅夫 (信州大)	松本市
第11回	昭和42年	阿多 實茂 (名大)	名古屋市	第39回	平成7年	西川 武二 (慶應大)	東京都
第12回	昭和43年	福代 良一 (金沢大)	金沢市	第40回	平成8年	宮治 誠 (千葉大)	千葉市
第13回	昭和44年	水野 重光 (順大)	東京都	第41回	平成9年	野澤 義則 (岐阜大)	岐阜市
第14回	昭和45年	藤野 恒三郎 (阪大)	大阪市	第42回	平成10年	渡邊 一功 (順大)	東京都
第15回	昭和46年	三浦 修 (日大)	東京都	第43回	平成11年	篠田 孝子 (明治薬大)	東京都
第16回	昭和47年	三浦 祐晶 (北大)	札幌市	第44回	平成12年	西本 勝太郎 (長崎市民病院)	長崎市
第17回	昭和48年	伊藤 友喜 (岐阜大)	岐阜市	第45回	平成13年	直江 史郎 (東邦大)	東京都
第18回	昭和49年	新井 正 (千葉大)	千葉市	第46回	平成14年	小川 秀興 (順大)	東京都
第19回	昭和50年	上坂 一郎 (京大)	京都市	第47回	平成15年	長谷川 篤彦 (日大)	東京都
第20回	昭和51年	宮崎 寛明 (順大)	東京都	第48回	平成16年	滝内 石夫 (昭和大藤が丘)	横浜市
第21回	昭和52年	螺 良英郎 (徳島大)	徳島市	第49回	平成17年	西村 和子 (千葉大)	千葉市
第22回	昭和53年	澤崎 博次 (関東逓信病院)	東京都	第50回	平成18年	渡辺 晋一 (帝京大)	東京都
第23回	昭和54年	香川 三郎 (東京医歯大)	東京都	第51回	平成19年	北島 康雄 (岐阜大)	高山市
第24回	昭和55年	占部 治邦 (九大)	福岡市	第52回	平成20年	河野 茂 (長崎大)	長崎市
第25回	昭和56年	池本 秀雄 (順大)	東京都	第53回	平成21年	小川 秀興 (順大)	東京都
第26回	昭和57年	深澤 義村 (山梨医大)	甲府市	第54回	平成22年	西川 朱實 (明治薬大)	東京都
第27回	昭和58年	渡辺 昌平 (滋賀医大)	大津市	第55回	平成23年	比留間 政太郎 (順大)	東京都
第28回	昭和59年	奥平 雅彦 (北里大)	横浜市				

第55回日本医真菌学会学術集会の開催にあたって



第55回日本医真菌学会学術集会

会長 **比留間政太郎**

順天堂大学医学部附属練馬病院 皮膚・アレルギー科教授

第55回日本医真菌学会総会を開催させて頂くことになり、誠に光栄に存じております。順天堂大学では、これまでに日本医真菌学会総会を、第6回（1962年）土屋毅教授（細菌学）、第13回（1969年）水野重光教授（産婦人科学）、第20回（1976年）宮崎寛明教授（皮膚科学）、第25回（1981年）池本秀雄教授（内科学）、第42回（1998年）渡邊一功教授（内科学）、第46回（2002年）小川秀興教授（皮膚科学）が、それぞれ開催されておられます。このような医真菌学会で活躍された先生方のおられた大学に所属し、この学会を開催させて頂きますことは、誠に身の引きしまる思いが致します。

私は、日本医真菌学会へ入会して35年が経ちました。皮膚科医として毎日患者を診察して、真菌を培養することを続けて参りましたが、いつも思うことは、医真菌学は、やはり基礎と臨床があつての医真菌学なのだということです。医学が目覚ましい発展を遂げ、今日の医真菌学は基礎医学と臨床医学の溝が益々深くなっているように思います。そこで今回の学会のテーマは、「基礎から臨床へ、臨床から基礎への提案」と致しました。この学会では、もう一度医真菌学の原点に立って、基礎・臨床の両面に立って論じて頂ければと願っています。

特別講演1は、東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻／医学系研究科疾患生命工学センター教授、片岡一則先生に「薬を患部に運ぶナノカプセル～医真菌学領域への応用の展望～」についてお話し頂きます。先生は、超分子ナノデバイスによる薬物・遺伝子のピンポイントデリバリーの研究の権威で、医学と工学との"bridge"について易しくご講演頂きます。特別講演2は、第18回国際医真菌学会会長の M. Ruhnke 教授に「Azole-Resistance in *Candida* infections and induction by cytotoxic agents」についてお話し頂く予定です。シンポジウムと基礎・臨床セミナーでは、真菌症の原因菌を巡って、基礎と臨床からの両者の立場の先生より問題点をご提示、討論をして頂きます。その他共催セミナーを企画しております。一般演題は、ポスター発表として、ご希望の先生には、同時にご口演して頂くことにしております。活発な討論が行われますことを期待しております。また、顕微鏡コーナーを設けますので、病原真菌の固定分離菌、顕微鏡標本をご持参ください。参加者に手に取って観察して貰えるようにしたいと思います。

インターネットなどの情報革命の中、学会の役割も急激な変化をみせております。出来るだけ多くの皆様のご参加を頂き、ヒトとヒトとの生の情報交換を大切に考え、活発で実り多い総会に致したいと存じております。何卒ふるってご参加を頂けますようお願い申し上げます。

日程表 (前日 10月20日(木))

	A 会場 オリオン1 プラザ 5F	B 会場 オリオン2 プラザ 5F	C 会場 ペガサス プラザ 1F	D 会場 ロビー 5F	E 会場 カトリア タワー 5F	ウェルカムパーティー ギャラクシー プラザ 1F
9:00						
30						
10:00						
30						
11:00						
30						
12:00			12:00-			
30			参加受付開始			
13:00			13:00-14:30			
30			各種委員会			
14:00						
30						
15:00						
30						
16:00			参加受付			
30						
17:00			16:30-17:30			
30			代議員総会			
18:00			17:30-18:00 基調講演(1) Hunting down the pathogen 座長:安部 茂 演者:Yuping Ran			
30			18:00-18:30 基調講演(2) The Role of a Medical Mycologist 座長:Byung In Ro 演者:Ruoyu Li			
19:00			18:30-19:00 基調講演(3) Candidaemia 座長:二木芳人 演者:Markus Ruhnke			
30						19:00-21:00 ウェルカム パーティー (要・事前登録)
20:00						ギャラクシー (プラザ 1階)
30						
21:00						

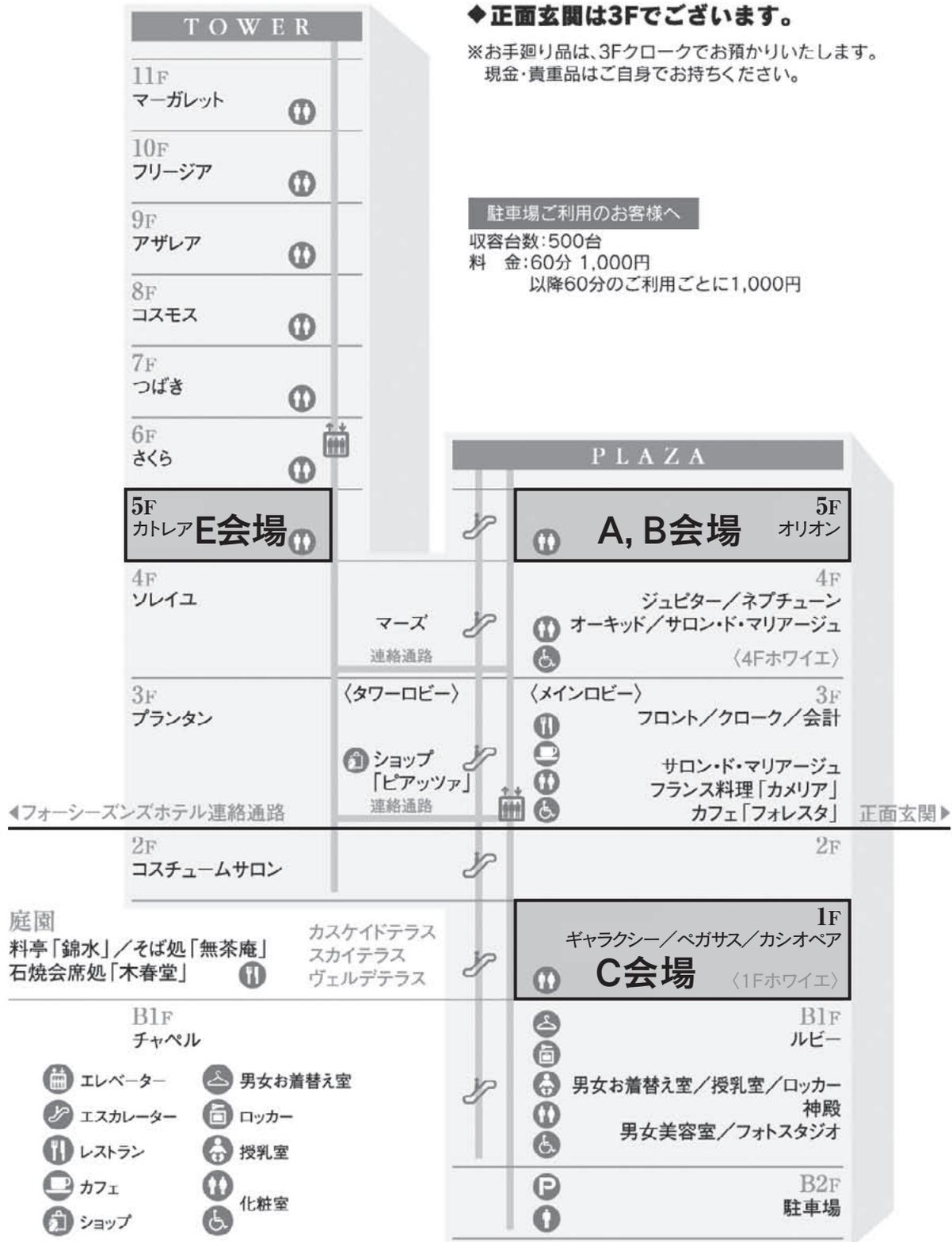
第1日目 10月21日(金)

	A会場 オリオン1 プラザ 5F	B会場 オリオン2 プラザ 5F	C会場 ペガサス プラザ 1F	D会場 ロビー 5F	E会場 カトレア タワー 5F	懇親会 ボールルーム フォーシーズンズホテル椿山荘 1F
8:00	8:00- 参加受付					
8:30	8:30-9:30 会員総会 学会賞授与式					
9:00	9:30-10:10 学会賞記念講演 座長:渡辺晋一 受賞者:西川朱實			9:00-	9:00-10:00 ポスター設置	
10:00	10:20-11:00 特別講演 1 薬を患部に運ぶナノカプセル ~医真菌学領域への応用の展望~ 座長:河野 茂 演者:片岡一則			顕微鏡コーナー インストラクター 榎村浩一 佐野文子 加納 壘 杉田 隆 若山 恵 井手 忠	ポスター展示	
11:00	11:00-11:40 特別講演 2 Azole-resistance in <i>Candida</i> infections 座長:小川秀興 演者:Markus Ruhnke					
12:00						
12:30	12:15-13:15 ランチョンセミナー 1 皮膚真菌症の基礎と臨床:最近の進歩 座長:小川秀興、渡辺晋一 演者:北見由季 神田奈緒子 共催:ポーラファルマ(株)	12:15-13:15 ランチョンセミナー 2 アスペルギルス症:最近の進歩 座長:二木芳人、亀井克彦 演者:河野 茂、渡辺 哲 共催:ファイザー(株)				
13:00				商業展示		
14:00	13:30-14:55 シンポジウム 1 真菌症の診断 座長:安部 茂、望月 隆 演者:篠崎 稔、山田 剛 牛上 敢、吉田 稔	13:30-14:55 シンポジウム 2 クリプトコックスと クリプトコックス症 座長:川本 進、河野 茂 演者:泉川公一、菊池信之 東江昭夫、石井恵子 池田玲子	13:30-14:12 一般演題:白癬菌の 基礎と臨床(1) 座長:楠 俊雄、石崎純子 14:12-14:54 一般演題:白癬菌の 基礎と臨床(2) 座長:仲 弥、田中壯一	休憩コーナー		
15:00	15:00-16:25 シンポジウム 3 アスペルギルスと アスペルギルス症 座長:宮崎義継、安藤常浩 演者:矢口貴志、梅山 隆 鈴木純子、吉田耕一郎	15:00-16:25 シンポジウム 4 真菌と感染防御 座長:大野尚仁、川上和義 演者:荒谷康昭、金城雄樹 豊留孝仁、古賀哲也	14:12-14:54 一般演題:白癬菌の 基礎と臨床(2) 座長:仲 弥、田中壯一 休憩			
16:00	16:40-17:40 イブニングセミナー 1 真菌関連各種皮膚疾患の治療 ~基礎と応用~:最近の進歩 座長:原田敬之、東 再彦 演者:常深祐一郎、杉田 隆 共催:ヤンセンファーマ(株)	16:40-17:40 イブニングセミナー 2 非好中球減少患者における深在性 真菌症の診断と治療:最近の進歩 座長:二木芳人、宮崎義継 演者:大塚善人、三嶋廣業 共催:大日本住友製薬(株)	15:00-15:42 一般演題:白癬菌の 基礎と臨床(3) 座長:高瀬孝子、中村遊香 15:42-16:17 一般演題:爪真菌症の 基礎と臨床 座長:小林裕美、楠原正洋			
17:00						
18:00					17:40-19:00 ポスター討論	
19:00						19:00-21:00 懇親会 ポスター賞授賞式
20:00						ボールルーム (フォーシーズンズ ホテル椿山荘 1F)
21:00						

第2日目 10月22日(土)

	A 会場 オリオン 1 プラザ 5F	B 会場 オリオン 2 プラザ 5F	C 会場 ペガサス プラザ 1F	D 会場 5 階ロビー 5F	E 会場 カトリア タワー 5F
8:00				顕微鏡コーナー インストラクター 榎村浩一 佐野文子 加納 壘 杉田 隆 若山 恵 井手 忠 商業展示 休憩コーナー	
8:30	8:30-9:55	8:30-9:30	8:30-9:19		
9:00	シンポジウム 5 白癬菌と白癬 座長: 渡辺晋一、福田知雄 演者: 大隅尊史、加納 壘 小川祐美、佐藤友隆	基礎・臨床セミナー 1 環境真菌と健康障害 座長: 杉浦義紹、村山琮明 演者: 高島浩介、榎村浩一	一般演題: カンジダの 基礎と臨床(1) 座長: 久米 光、泉川公一		
9:30			9:19-9:54		
10:00		9:40-10:40	一般演題: カンジダの基礎と臨床(2) 座長: 上西秀則、田辺公一 休憩		
10:30	10:30-11:55	基礎・臨床セミナー 2 黒色真菌と黒色真菌感染症 座長: 西本勝太郎、五十棲健 演者: 佐野文子、前田 学	10:00-10:42 一般演題: カンジダの 基礎と臨床(3) 座長: 阿部美知子、西山彌生		
11:00	シンポジウム 6 カンジダとカンジダ症 座長: 渋谷和俊、坪井良治 演者: 新見昌一、西城 忍 山岸由佳、加藤卓朗		10:42-11:17 一般演題: クリプトコックスの 基礎と臨床 座長: 大野秀明、生駒憲広		
11:30		基礎・臨床セミナー 3 プロトテカと医薬薬学 座長: 松本忠彦、加納 壘 演者: 上野良平、山元 修			
12:00					
12:30	12:15-13:15	12:15-13:15			
13:00	ランチョンセミナー 3 表在性皮膚真菌症の 診断と治療: 最近の進歩 座長: 安部 茂、西本勝太郎 演者: 望月 隆、藤広満智子 共催: マルホ株式会社	ランチョンセミナー 4 抗真菌剤とカンジダ感染症: 最近の進歩 座長: 渋谷和俊、竹末芳生 演者: 新見京子、泉川公一 共催: アステラス製薬株式会社			
13:30	13:30-14:30	13:30-14:55	13:30-14:12		
14:00	基礎・臨床セミナー 4 接合菌と接合菌症 座長: 亀井克彦、磯沼 弘 演者: 三川 隆、掛屋 弘	シンポジウム 7 病原真菌と抗真菌剤 座長: 新見昌一、二木芳人 演者: 宮川洋三、知花博治 中山浩伸、前崎繁文	一般演題: トリコスポロンと マラセチアの基礎と臨床 座長: 杉田 隆、時松一成		
14:30			14:12-14:54		
15:00	15:00-17:00	15:00-16:55	一般演題: アスペルギルスの 基礎と臨床(1) 座長: 矢口貴志、梅山 隆 休憩		
15:30	ICD 講習会 院内感染における病原真菌と 真菌感染症 座長: 菊池 賢、前崎繁文 演者: 大野秀明、吉田耕一郎 高田 徹、光武耕太郎	シンポジウム 8 マラセチアとその関連疾患 座長: 西川朱實、清 佳浩 演者: 杉田 隆、永田雅彦 齋藤磨美、清 佳浩	15:00-15:42 一般演題: アスペルギルスの 基礎と臨床(2) 座長: 木村正友、渡辺 哲		
16:00		次期会長挨拶	15:42-16:24 一般演題: 深在性皮膚真菌症の基礎と臨床 座長: 岩津都希雄、松田哲男		
16:30					
17:00				15:00-16:00 ポスター撤去	
17:30					
18:00				17:00-18:30 フェアウエル パーティー 椿山荘タワー棟 7 階 「つばき」	
18:30					
19:00					
19:30					
20:00					

椿山荘 館内のご案内



〒112-8680 東京都文京区関口2-10-8
TEL. 03-3943-1111 (代表)

●宿泊をご希望のお客様
フォーシーズンズホテル椿山荘 東京
宿泊予約 TEL. 03-3943-7070

◆◆◆◆ 交通のご案内 ◆◆◆◆



●バスご利用の場合 (所要時間約10分)

目白駅改札口正面の横断歩道を渡り「目白駅前」バス停から都バス 白61系統 新宿西口行または「川村学園前」バス停から都バス 白61系統 椿山荘行・新宿西口行にて、「椿山荘前」下車。

●タクシーご利用の場合

目白駅、池袋駅、高田馬場駅、飯田橋駅、茗荷谷駅、東西線早稲田駅から約10分。
銀座から首都高速5号線で約20分(早稲田ランプ)。東京駅から約30分。

●地下鉄ご利用の場合

有楽町線「江戸川橋駅」下車1a番出口徒歩約10分。副都心線「雑司ヶ谷駅」下車3番出口徒歩約20分。

●お車ご利用の場合

羽田・銀座方面から 首都高速5号線「早稲田ランプ」出口左折、「江戸川橋」交差点左折、二つ目の信号「目白坂下」左折。銀座から約20分、東京駅より約30分。

埼玉方面から 首都高速5号線「東池袋」出口左折、つきあたり左折、「護国寺西」交差点右折、つきあたり「目白台2」交差点左折、目白通り直進。

◆土曜・日曜・祝日は駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をおすすめいたします。

◆交通事情により所要時間が多少変わる場合もございます。

学会参加者へのご案内

A. 参加受付

場 所：椿山荘 プラザ5階「オリオン」前ロビー総合受付

時 間：10月21日(金)、22日(土) 8:00～

*前日10月20日(木)の参加受付はプラザ1階「ペガサス」前にて12:00～実施いたします。

B. 学会参加費

学会参加当日に受付にてお支払い下さい。

一般会員：15,000円

非会員：17,000円

学生・外国人留学生：7,000円（証明書を提示して下さい）

抄録集：必ずご持参下さい。会場で購入される場合は1冊2,500円（税込）にて販売いたします。参加費をお支払いの際、ネームカードをお受け取り下さい。ネームカードには、所属・氏名を記入し、会場内では常時着用して下さい。

C. ウェルカムパーティー

10月20日(木)19:00から椿山荘プラザ1階「ギャラクシー」にて行います。

参加費は無料ですが、ホームページより[事前登録](#)をお願いいたします。

D. 懇親会

10月21日(金)19:00からフォーシーズンズホテル椿山荘1階「ボールルーム」にて行います。

参加費は無料です。

E. 皮膚科の先生方へ

本会出席者には皮膚科専門医制度後実績6単位が認められます。

F. 感染症認定医の先生方へ

日本感染症学会による感染症専門医更新時の実績として、本会出席者には3単位、筆頭演者にはさらに3単位が認められます。

G. ICD (Infection Control Doctor) の先生方へ

ICD更新時の実績として本会出席者には5単位が認められます。ICD講習会出席の単位をご希望の先生は事前登録が必要です。単位が不要の先生は当日でも参加できます。

H. 薬剤師の先生方へ

日本病院薬剤師会が認定する感染制御認定薬剤師更新時の実績として本会出席者には3単位が認められます。

I. その他

- ・会場内での呼び出しは行いません。
- ・会場施設内は全て禁煙です。
- ・プラザ5階ロビーに、休憩コーナーを設けています。
- ・クロークはプラザ5階に設けています。

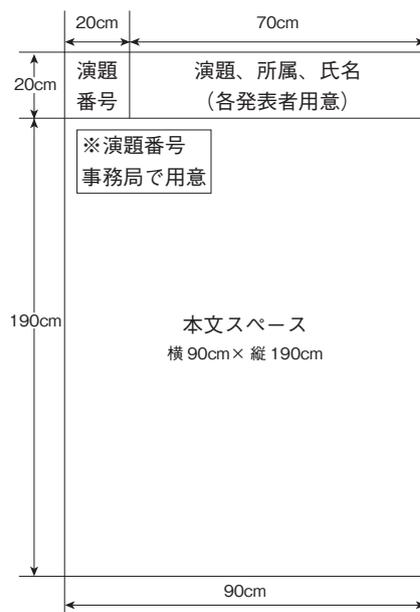
演者・座長の先生方へのご案内

A. 口演発表の演者の先生方へ（特別講演、基調講演、基礎・臨床シンポジウム、基礎・臨床セミナー、一般演題（口演希望者）、ICD 講習会）

- (1)口演発表はすべて PC により行っていただきます。すべての会場で 1 面映写です。
- (2)発表時間の 1 時間前までに PC データ受付カウンターにてデータの試写・登録を済ませて下さい。
2 日目の 8:30 からご発表の先生は当日の 8:00 から受付を行います。できるだけ前日の受付をお願いいたします。
- (3)お持込みいただけるメディアは、USB メモリと CD-ROM のみです。FD や MO、また演者ご自身の PC は受付けておりません。
- (4)会場には Windows XP 搭載の PC を用意します。使用するアプリケーションは Windows 版 Power Point2003、PowerPoint2007 です。Windows Vista および Macintosh は用意しておりません。
- (5)使用フォントは標準で装備されているものをご利用下さい。特殊なフォントは表示のずれ、文字化けが生じることがありますのでご注意ください。
- (6)データ受付カウンターでコピーをした発表データは、発表終了後、学術集会事務局にて責任を持って削除いたします。

B. ポスター発表の先生方へ

- (1)会場内に演題番号のついたパネルを用意いたします。パネルの大きさは、横 90cm × 縦 210cm です。



- (2)ピンは当日会場に用意いたします。
- (3)一般演題でご口演ご希望の先生も、ポスターの掲示をして下さい。
- (4)ポスターの設置、討論および撤去の時間は以下の通りです。
設 置 1 日目 (10 月 21 日(金)) 9:00 ~ 10:00
討 論 1 日目 (10 月 21 日(金)) 17:40 ~ 19:00
発表者は、ポスターの前で待機してください。
ポスターの前での発表はありません。
撤 去 2 日目 (10 月 22 日(土)) 15:00 ~ 16:00
- (5)撤去時間をすぎたポスターは学術集会事務局で処分いたしますので、ご了承下さい。

C. シンポジウムの演者および座長の先生方へ

- (1)各セッションの時間は85分です。座長の先生は時間内に全ての討論が終了するように進めて下さい。
- (2)各演者の先生の発表時間は、座長の先生の指示に従って下さい。

D. 一般演題（口演）の演者および座長の先生方へ

スライドは、10枚以内、発表時間は5分以内、質疑応答時間は2分です。座長の先生は時間内に全ての討論が終了するように進めて下さい。時間厳守を何卒よろしくお願い申し上げます。

E. 顕微鏡コーナーについて

医真学入門は何んといっても実物の菌をみるのが大切です。ご発表の菌の標本をお持ち下さい。インストラクターとして榎村浩一、佐野文子、加納壘、杉田隆、若山恵、井手忠諸先生方をお願いしております。

F. 講演原稿の提出について

特別講演、基調講演、基礎・臨床シンポジウム、基礎・臨床セミナー等につきましては、講演内容をまとめた総説を後日、日本医真菌学会雑誌に掲載致します。編集委員会からの依頼に応じて原稿の提出をお願い申し上げます。

理事会・代議員総会・各種委員会のご案内

会 場：椿山荘 東京
〒112-8680 東京都文京区関口 2-10-8 TEL：03-3943-1111(代表)

期 日：平成 23年10月20日(木) (学術集会前日)

各種委員会：13:00～14:30 C会場(プラザ1階「ペガサス」)

理 事 会：14:30～16:30 タワー4階「マース」

代議員総会：16:30～17:30 C会場(プラザ1階「ペガサス」)

プログラム

10月20日(木) 17:30-	C会場 プラザ1F「ペガサス」 基調講演 1, 2, 3
10月21日(金) 8:30-	A会場 プラザ5F「オリオン1」 学会賞記念講演・特別講演 1, 2 ランチョンセミナー1 基礎・臨床シンポジウム 1, 3・イブニングセミナー1
	B会場 プラザ5F「オリオン2」 ランチョンセミナー2・基礎・臨床シンポジウム 2, 4 イブニングセミナー2
	C会場 プラザ1F「ペガサス」 一般演題（口演発表）
10月22日(土) 8:30-	A会場 プラザ5F「オリオン1」 基礎・臨床シンポジウム 5, 6・ランチョンセミナー3 基礎・臨床セミナー4・ICD 講習会
	B会場 プラザ5F「オリオン2」 基礎・臨床セミナー1, 2, 3・ランチョンセミナー4 基礎・臨床シンポジウム 7, 8
	C会場 プラザ1F「ペガサス」 一般演題（口演発表）

第55回日本医真菌学会学術集会プログラム

テーマ：「基礎から臨床へ、臨床から基礎への提案」
“The bridge between clinicians and researchers”

10月20日(木) C会場 プラザ1F「ペガサス」

17:30～18:00 基調講演1

座長：安部 茂 (帝京大学医真菌研究センター)

OK1 Hunt the pathogen when fungal infection could not be excluded

Yuping Ran

Department of Dermatology, West China Hospital, Sichuan University

18:00～18:30 基調講演2

座長：Byung In Ro (Department of Dermatology, Myongji Hospital, Kwandong University College of Medicine, Goyang, Korea)

OK2 “B to B to B” – What is the Role of a Medical Mycologist ?

Ruoyu Li

Department of Dermatology, Peking University First Hospital, Research Center for Medical Mycology, Peking University, China

18:30～19:00 基調講演3

座長：二木 芳人 (昭和大学医学部臨床感染症学)

OK3 Management of Candidaemia and invasive *Candida* infections

Markus Ruhnke

Department of Medicine, Div. Haematology & Oncology, Charité University Medicine, Campus Charité Mitte

19:00～ ウェルカムパーティー E会場 プラザ1F「ギャラクシー」

軽いカクテル・パーティーです。事前登録をして御参加下さい。

10月21日(金) A会場 プラザ5F「オリオン1」

9:30～10:10 学会賞記念講演

座長： 渡辺 晋一（帝京大学医学部皮膚科学教室）

AW1 アトピー性皮膚炎に關与する *Malassezia* アレルゲンの解析

西川 朱實

明治薬科大学免疫生物学教室

10:20～11:00 特別講演1

座長： 河野 茂（長崎大学病院）

SL1 薬を患部に運ぶナノカプセル～医真菌学領域への応用の展望～

片岡 一則

東京大学大学院工学系研究科/医学系研究科

11:00～11:40 特別講演2

座長： 小川 秀興（順天堂大学）

SL2 Azole-Resistance in *Candida* infections and induction by cytotoxic agents

Markus Ruhnke

Department of Medicine, Div. Haematology & Oncology, Charité University Medicine, Campus Charité Mitte

12:15～13:15 ランチョンセミナー1「皮膚真菌症の基礎と臨床：最近の進歩」

<共催：株式会社 ポーラファルマ>

座長： 小川 秀興（順天堂大学）

渡辺 晋一（帝京大学医学部皮膚科学教室）

LS1-1 日常診療における表在性皮膚真菌症について

北見 由季

昭和大学病院皮膚科

LS1-2 抗真菌薬による human β -defensin-3 の産生

神田 奈緒子

帝京大学医学部附属病院皮膚科

13:30～14:55 基礎・臨床シンポジウム1「真菌症の診断」

座長： 安部 茂（帝京大学医真菌研究センター）

望月 隆（金沢医科大学皮膚科学教室）

S1-1 FFPE 試料を用いた遺伝子補助診断法の開発と評価篠崎 稔¹、中山 晴雄²、大久保 陽一郎²、笹井 大督²、若山 恵²、村山 琮明³、
根本 哲生²、渋谷 和俊²¹東邦大学医療センター大森病院病理部、²東邦大病院病理学、³日本大分子細胞生物学**S1-2** 基礎領域から見た皮膚真菌症の診断法（原因菌同定法）の動向

山田 剛

帝京大学医真菌研究センター

S1-3 皮膚真菌症領域における分子生物学的方法

牛上 敢、望月 隆

金沢医科大学環境皮膚科学部門

S1-4 真菌症の診断

吉田 稔

帝京大学医学部附属溝口病院第4内科

15:00 ~ 16:25 基礎・臨床シンポジウム3「アスペルギルスとアスペルギル症」

座長：宮崎 義継（国立感染症研究所生物活性物質部）

安藤 常浩（日本赤十字社医療センター感染症科）

S3-1 *Aspergillus fumigatus* および関連種の分類と薬剤感受性

矢口 貴志

千葉大学真菌医学研究センター

S3-2 アスペルギルス属の病原性制御にむけたアプローチ

梅山 隆、山越 智、宮崎 義継

国立感染症研究所生物活性物質部

S3-3 慢性肺アスペルギルス属の臨床の実際

鈴木 純子

国立病院機構東京病院呼吸器疾患センター

S3-4 肺アスペルギルス症の診断法

吉田 耕一郎

昭和大学医学部臨床感染症学

16:40 ~ 17:40 イブニングセミナー1「真菌関連各種皮膚疾患の治療～基礎と応用～：最近の進歩」

<共催：ヤンセンファーマ株式会社>

座長：原田 敬之（原田皮膚科クリニック）

東 禹彦（東皮フ科医院）

ES1-1 経口抗真菌薬のさらなる活用を！

常深 祐一郎

東京女子医科大学皮膚科学教室

ES1-2 皮膚常在微生物叢と抗真菌薬

杉田 隆

明治薬科大学微生物学教室

10月21日(金) B会場 プラザ5F「オリオン2」

12:15 ~ 13:15 ランチョンセミナー2「アスペルギルス症：最近の進歩」 <共催：ファイザー株式会社>

座長：二木 芳人（昭和大学医学部臨床感染症学）

亀井 克彦（千葉大学真菌医学研究センター病原真菌研究部門）

LS2-1 深在性真菌症診療における今後

河野 茂

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座

LS2-2 アスペルギルス症の成立と進展メカニズムの解明を目指して

渡辺 哲

千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野

13:30～14:55 基礎・臨床シンポジウム2「クリプトコックスとクリプトコックス症」

座長： 川本 進（千葉大学真菌医学研究センター病原機能分野）
河野 茂（長崎大学病院）

S2-1 クリプトコックス症の臨床と分子疫学研究

泉川 公一、河野 茂
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座

S2-2 皮膚クリプトコックス症の臨床

菊池 信之、三浦 貴子、川上 佳夫、尾山 徳孝、山本 俊幸
福島県立医科大学附属病院皮膚科

S2-3 クリプトコックスにおけるリン酸代謝系

東江 昭夫¹、西沢 正文²、清水 公德¹、大楠 美佐子¹、川本 進¹
¹千葉大学真菌医学研究センター機能形態、²慶応大学医学部

S2-4 *C. neoformans* 症の病態におけるパターン認識受容体の役割

石井 恵子、川上 和義
東北大学大学院医学系研究科保険学専攻感染分子病態解析学分野

S2-5 細菌接着に誘導される *Cryptococcus neoformans* のアポトーシス様細胞死

池田 玲子
明治薬科大学微生物学教室

15:00～16:25 基礎・臨床シンポジウム4「真菌と感染防御」

座長： 大野 尚仁（東京薬科大学薬学部免疫学教室）
川上 和義（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻感染分子病態解析学分野）

S4-1 真菌感染防御における好中球由来の活性酸素の役割

荒谷 康昭¹、三浦 典子²、大野 尚仁²、鈴木 和男³
¹横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科、²東京薬大免疫、³千葉大免疫発生

S4-2 自然免疫の活性化による播種性カンジダ症マウスモデルの解析

金城 雄樹¹、樽本 憲人¹、大川原 明子¹、上野 圭吾¹、篠崎 稔²、渋谷 和俊³、宮崎 義継¹
¹国立感染症研究所生物活性物質部、²東邦大学医療センター大森病院病理部、³東邦大学医学部病院病理学講座

S4-3 *Aspergillus fumigatus* にとっての宿主因子との正の相互作用、負の相互作用

豊留 孝仁¹、渡辺 哲²、亀井 克彦^{1,2}
¹千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野、²千葉大病院感染症管理治療

S4-4 皮膚真菌症と免疫反応

古賀 哲也
国立病院機構福岡東医療センター皮膚科

16:40～17:40 イブニングセミナー2「非好中球減少患者における深在性真菌症の診断と治療:最近の進歩」

<共催：大日本住友製薬株式会社>

座長： 二木 芳人（昭和大学医学部臨床感染症学講座）
宮崎 義継（国立感染症研究所生物活性物質部）

ES2-1 病院検査室における真菌症検査の問題点～検査オーダーと抗真菌薬感受性試験結果の解釈～

大塚 喜人
亀田総合病院臨床検査管理部

ES2-2 侵襲性カンジダ症の診断・治療に関する新しい知見と問題点

三嶋 廣繁
愛知医科大学大学院医学研究科感染制御学

10月21日(金) C会場 プラザ1F「ペガサス」

13:30～14:12 一般演題「白癬菌の基礎と臨床(1)」

座長：楠 俊雄(哲学堂くすのき皮膚科)

石崎 純子(東京女子医科大学東医療センター皮膚科)

O1-1-1 *Arthroderma vanbreuseghemii* の核型解析

(P-005) 村山 琮明¹、山田 剛²、横村 浩一²、星野 泰隆³

¹日本大分子細胞生物学、²帝京大 医真菌研、³国立感染症研生物活性物質

O1-1-2 白癬菌の菌糸伸長の自動解析の試み

(P-006) 八田 順子^{1,2}、畝田 道雄³、安澤 数史¹、望月 隆¹

¹金沢医大皮膚科、²医王病院皮膚科、³金沢工大機械工学科

O1-1-3 主要抗真菌薬に対する各種爪・皮膚真菌症起因菌の *in vitro* 感受性と併用効果に関する検討

(P-007) 田村 俊¹、浅原 美和¹、林 美佳智⁴、松村 充²、後藤 一雄²、横村 浩一^{3,4}

¹帝京大大学院医療技術学研究科臨床検査学専攻、²帝京大医療技術学部臨床検査学科、
³帝京大医真菌研究センター、⁴帝京大大学院宇宙環境医学研究室

O1-1-4 表在性白癬からのセロファン粘着テープによる簡易培養法

(P-008) 金子 健彦¹、三関 信夫²

¹同愛記念皮膚科、²同愛記念検査科

O1-1-5 ポリプロピレン製小物収納用ケースを用いた簡便なスライド培養法

(P-009) 藤田 繁

藤田皮膚科クリニック

O1-1-6 飼い猫 8 匹中 7 匹からも *Trichophyton mentagrophytes* が分離された、右胸の体部白癬

(P-010) 藤田 繁¹、望月 隆²

¹藤田皮膚科クリニック、²金沢医大環境皮膚科

14:12～14:54 一般演題「白癬菌の基礎と臨床(2)」

座長：仲 弥(仲皮フ科クリニック)

田中 壯一(田中皮フ科医院)

O1-2-1 ウサギから感染した *Arthroderma vanbreuseghemii* による白癬の家族例

(P-012) 榮 仁子¹、野口 博光²、市之川 悠子³、比留間 政太郎³

¹寺尾病院皮膚科、²のぐち皮ふ科、³順天堂練馬病院皮膚・アレルギー科

O1-2-2 高齢女性に生じたステロイド外用歴のない *Trichophyton rubrum* によるケルスス禿瘡の 1 例

(P-013) 小林 彩華、畑 康樹

済生会横浜市東部病院皮膚科

O1-2-3 ギニア人に生じた *T. rubrum* var. *raubitschekii* による頭部白癬の家族内感染例

(P-014) 比留間 翠¹、市ノ川 悠子¹、舟串 直子¹、貞政 裕子¹、比留間 政太郎¹、杉田 隆²

¹順天堂大練馬病院皮膚・アレルギー科、²明治薬科大学微生物学教室

O1-2-4 ネフローゼ症候群患者に生じた *Trichophyton rubrum* による白癬菌性膿瘍の 1 例

(P-015) 福山 國太郎

JA とりで総合医療センター皮膚科

O1-2-5 白癬菌性肉芽腫の 1 例

(P-016) 保母 彩子、張 恩実、坪井 良治

東医大皮膚科

O1-2-6 白癬疹の 2 例

(P-017) 竹中 基¹、吉崎 麻子¹、西本 勝太郎²

¹長崎大学病院皮膚科・アレルギー科、²日本海員救済会会長崎病院

15:00～15:42 一般演題「白癬菌の基礎と臨床(3)」

座長：高瀬 孝子(高瀬皮膚科医院)
中村 遊香(帝京大学医学部皮膚科)

O1-3-1 *Trichophyton tonsurans* の NTS 領域の多型性に基づく分子疫学的検討

(P-021) 安澤 数史^{1,2}、望月 隆^{1,2}、坂元 とも子¹、田邊 洋¹、石崎 宏²
¹金沢医大皮膚科、²金沢医大皮膚真菌(ノバルティスファーマ)

O1-3-2 *Trichophyton tonsurans* 感染症 10 年の推移

(P-022) 笠井 達也
笠井皮膚科

O1-3-3 東京学生柔道連盟における *T. tonsurans* 感染症への取り組みとその成果

(P-023) 廣瀬 伸良、菅波 盛雄、田村 昌大、小川 祐美、比留間 政太郎
順天堂大柔道

O1-3-4 *Trichophyton tonsurans* による急性深在性生毛部白癬の 1 例

(P-024) 下山 陽也¹、鈴木 智香子¹、篠田 大介¹、清 佳浩¹、横村 浩一²
¹帝京溝口皮膚科、²帝京大学医真菌センター

O1-3-5 ウサギが関与した *Microsporum canis* による頭部および体部白癬の 1 例

(P-025) 山口 さやか、宮里 仁奈、平良 清人、細川 篤、高橋 健造、上里 博
琉球大皮膚科

O1-3-6 野良ネコから感染した *Microsporum canis* による体部白癬の 1 例

(P-026) 室 繭子、張 恩実、坪井 良治
東京医大皮膚科

15:42～16:17 一般演題「爪真菌症の基礎と臨床」

座長：小林 裕美(大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学)
楠原 正洋(楠原皮膚科医院)

O1-4-1 爪白癬動物モデルを用いた肉眼的所見と病理組織所見との相関における検討

(P-030) 鈴木 琢¹、久保田 信雄²、島村 剛²、渋谷 和俊³
¹東邦大学医療センター大橋病院・皮膚科、²(株)ポーフアルマ医薬研究所、³東邦大学医学部病院病理学教室

O1-4-2 *Aspergillus sydowii* による爪真菌症の 1 例

(P-031) 野口 博光¹、山田 理子¹、杉田 隆²、市之川 悠子³、比留間 政太郎³
¹のぐち皮ふ科、²明治薬科大微生物、³順天堂練馬病院皮膚・アレルギー科

O1-4-3 *Fusarium verticillioides* による爪真菌症の 2 例

(P-032) 宮里 仁奈^{1,2}、山口 さやか²、細川 篤²、上里 博²
¹沖縄赤十字病院皮膚科、²琉球大皮膚科

O1-4-4 足、爪白癬患者の生活背景アンケート調査

(P-033) 田宮 久詩¹、小林 裕美¹、柳原 茂人¹、金山 美恵²、中西 健史¹、石井 正光¹
¹大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学、²池田回生病院皮膚科

O1-4-5 爪白癬に対する Nd:YAG レーザーの効果についての検討

(P-034) 木村 有太子¹、竹内 かおり¹、木下 綾子¹、高森 建二¹、須賀 康¹、比留間 政太郎²
¹順天堂大浦安皮膚科、²順天堂大練馬皮膚

10月22日(土) A会場 プラザ5F「オリオン1」

8:30～9:55 基礎・臨床シンポジウム5「白癬菌と白癬」

座長： 渡辺 晋一（帝京大学医学部皮膚科学教室）
 福田 知雄（杏林大学医学部皮膚科）

S5-1 動物病院で診られる動物の皮膚糸状菌症

大隅 尊史
 ビジョン動物愛護病院

S5-2 MAT 遺伝子解析から考える皮膚糸状菌の分類について

加納 暁
 日大獣医臨床病理

S5-3 *Trichophyton tonsurans* 感染症の現状と対策

小川 祐美
 順天堂大学医学部皮膚科

S5-4 「爪真菌症の新しい臨床分類」

佐藤 友隆
¹国立病院機構東京医療センター皮膚科、²慶應義塾大学皮膚科

10:30～11:15 基礎・臨床シンポジウム6「カンジダとカンジダ症」

座長： 渋谷 和俊（東邦大学医学部病院病理学講座）
 坪井 良治（東京医科大学医学部皮膚科）

S6-1 真菌のABC輸送体と薬剤排出ポンプ阻害剤の相互作用

新見 昌一
 ニューージーランド オタゴ大口腔科学

S6-2 C型レクチンによる真菌感染防御機構

西城 忍
 千葉大感染免疫、JST さきがけ

S6-3 カンジダ血症に関する最近の臨床研究の進歩～自験例を中心に～

山岸 由佳、三嶋 廣繁
 愛知医科大学大学院医学研究科感染制御学

S6-4 慢性皮膚粘膜カンジダ症の現状

加藤 卓朗
 済生会川口皮膚科

12:15～13:15 ランチョンセミナー3「表在性皮膚真菌症の診断と治療：最近の進歩」

<共催：マルホ株式会社>

座長： 安部 茂（帝京大学医真菌研究センター）
 西本 勝太郎（日本海員救済会長崎病院）

LS3-1 表在性皮膚真菌症－新たな診断法の展望

望月 隆
 金沢医大皮膚科

LS3-2 表在性皮膚真菌症の治療の最前線－高齢者の足・爪白癬の有効な治療戦略を考える－

藤広 満智子
 揖斐厚生病院皮膚科

13:30～14:30 基礎・臨床セミナー4「接合菌と接合菌症」

座長： 亀井 克彦（千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野）
 磯沼 弘（順天堂大学医学部総合診療科）

BS4-1 接合菌の分子生物学的分類法の進歩と接合菌症診断への応用

三川 隆¹、堤 寛²、佐藤 雄一³

¹三菱化学メディアエンス、²藤田保健衛生大第一病理、³北里大臨床検査

BS4-2 接合菌症の診断と治療

掛屋 弘、河野 茂

長崎大学病院第2内科

15:00～17:00 ICD 講習会「院内感染における病原真菌と真菌感染症」

座長： 菊池 賢（順天堂大学医学部感染制御科学）
 前崎 繁文（埼玉医科大学感染病科・感染制御科）

ICD-1 真菌症診断の現状と課題

大野 秀明、宮崎 義継

国立感染研生物活性

ICD-2 呼吸器真菌症の基礎と臨床

吉田 耕一郎

昭和大臨床感染症学

ICD-3 血液疾患領域の真菌感染

高田 徹

福岡大学医学部腫瘍血液感染症内科

ICD-4 臓器移植における真菌症

光武 耕太郎

埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科

10月22日(土) B会場 プラザ5F「オリオン2」**8:30～9:30 基礎・臨床セミナー1「環境真菌と健康障害」**

座長： 杉浦 義紹（神戸市環境保健研究所食品化学部）
 村山 琮明（日本大学薬学部分子細胞生物学研究室）

BS1-1 人と動物周辺にみる環境真菌

高鳥 浩介

NPO 法人カビ相談センター

BS1-2 環境真菌と健康障害：地上と宇宙の有人閉鎖環境における問題

楨村 浩一^{1,2}

¹帝京大院宇宙環境医学、²帝京大医真菌研

9:40～10:40 基礎・臨床セミナー2「黒色真菌と黒色真菌感染症」

座長： 西本勝太郎（日本海員掖済会長崎病院）
 五十棲 健（東京警察病院皮膚科）

BS2-1 黒色真菌とその感染症－黒色真菌症原因菌の分離・同定－

佐野 文子

琉球大農学部

BS2-2 岐阜県下で経験した黒色真菌症 (クロモミコーシス)

前田 学
岐阜県総合医療センター皮膚科

11:00 ~ 12:00 基礎・臨床セミナー 3「プロトテカと医藻類学」

座長： 松本 忠彦 (順天堂大学皮膚科 / 久留米大学皮膚科)
加納 翌 (日本大学生物資源科学部獣医臨床病理学研究室)

BS3-1 環境微生物化学分野における *Prototheca* の特徴

上野 良平
山梨県環境科学研

BS3-2 プロトテコーシスの臨床

山元 修
鳥取大皮膚科

12:15 ~ 13:15 ランチョンセミナー 4「抗真菌剤とカンジダ感染症：最近の進歩」 <共催：アステラス製薬株式会社>

座長： 渋谷 和俊 (東邦大学医学部病院病理学講座)
竹末 芳生 (兵庫医科大学感染制御学講座)

LS4-1 *Candida glabrata* のエキノキャンディン耐性機構

新見 京子
ニュージーランド オタゴ大口腔科学

LS4-2 カンジダ症の臨床的問題点と当科の取り組み

泉川 公一
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座

13:30 ~ 14:55 基礎・臨床シンポジウム 7「病原真菌と抗真菌剤」

座長： 新見 昌一 (オタゴ大学歯学部口腔科学講座)
二木 芳人 (昭和大学医学部臨床感染症学)

S7-1 病原性酵母 *Candida* に対する抗真菌剤標的候補探索：分子生物学的アプローチ

宮川 洋三
山梨大院生命工学

S7-2 *Candida glabrata* における体系的遺伝子組換え体ライブラリーを用いた抗真菌薬の標的探索

知花 博治
千葉大学真菌医学研究センター カンジダフェノームプロジェクト

S7-3 真菌のステロール恒常性の薬剤耐性への関与

中山 浩伸
鈴鹿医療大医薬品開発学研究室

S7-4 臨床における抗真菌薬の課題

前崎 繁文
埼玉医科大学感染症科・感染制御科

15:00 ~ 16:55 基礎・臨床シンポジウム 8「マラセチアとその関連疾患」

座長： 西川 朱實 (明治薬科大学免疫生物学教室)
清 佳浩 (帝京大学医学部附属溝口病院皮膚科)

S8-1 マラセチアの菌叢解析に関する up to date

杉田 隆
明治薬大微生物

S8-2 犬のマラセチアとその関与が予想される皮膚疾患永田 雅彦
ASC 皮膚科**S8-3 マラセチアとそのヒト関連皮膚疾患**齋藤 磨美
東京医科大学皮膚科学講座**S8-4 脂漏性皮膚炎の臨床**清 佳浩
帝京大溝口病院**10月22日(土) C会場 プラザ1F「ペガサス」****8:30～9:19 一般演題「カンジダの基礎と臨床(1)」**座長： 久米 光 (日本医科大学付属病院)
泉川 公一 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座)**O2-1-1 *Candida albicans* 可溶性多糖画分 CAWS 投与マウス肝臓における遺伝子発現の網羅的解析**
(P-056)大野 尚仁、大村 崇、三浦 典子、石橋 健一、安達 禎之
東京薬科大学薬学部免疫学教室**O2-1-2 High calcium, ATP and poly (I:C) augment the immune response to β -glucan in human keratinocytes**
(P-057)ハウ カレン¹、多田 弥生²、柴田 彩¹、浦辻 秀弥¹、浅野 善英¹、菅谷 誠¹、門野 岳史¹、
神田 奈緒子³、渡辺 晋一³、玉置 邦彦¹、佐藤 伸一¹¹東京大学医学部皮膚科、²立正佼成会附属佼成病院皮膚科、³帝京大学医学部皮膚科**O2-1-3 ヒト白血球における β -グルカン応答性因子の検討**(P-058) 石橋 健一、三浦 典子、安達 禎之、大野 尚仁
東京薬大免疫**O2-1-4 長崎大学病院における β -D-グルカン陽性例の検討**(P-059) 井手 昇太郎¹、泉川 公一¹、高園 貴弘¹、岩永 直樹¹、峰松 明日香¹、平野 勝治¹、
田代 将人¹、永吉 洋介¹、細萱 直希¹、三原 智¹、森永 芳智²、中村 茂樹¹、今村 圭文¹、
宮崎 泰可¹、掛屋 弘¹、山本 善裕¹、柳原 克紀²、田代 隆良¹、河野 茂¹¹長崎大学大学院医歯薬総合研究科感染免疫学講座(第2内科)、²長崎市立市民病院、³長崎大学病院検査部**O2-1-5 北里大学病院における血液疾患患者の検出真菌と患者背景の関連についての検討**(P-060) 角田 裕子¹、高木 千鶴²、山口 登希子²、榎野 富輝³、高山 陽子¹、狩野 有作²、
花木 秀明¹、東原 正明³、砂川 慶介¹、久米 光⁴¹北里大学感染症対策チーム、²北里大学臨床検査部、³北里大学医学部血液内科、⁴北里大学医学部病理学**O2-1-6 当院におけるボリコナゾール投与症例の副作用の検討**(P-061) 平野 勝治¹、泉川 公一¹、浜田 幸宏⁵、高園 貴弘²、井手 昇太郎¹、峰松 明日香¹、
田代 将人¹、三原 智¹、森永 芳智³、中村 茂樹¹、今村 圭文¹、宮崎 泰可¹、掛屋 弘¹、
山本 善裕¹、柳原 克紀³、田代 隆良⁴、河野 茂¹¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座(第2内科)、²長崎市立市民病院内科、³長崎大学病院検査部、⁴長崎大学医学部保健学科、⁵北里大学東病院薬剤部**O2-1-7 *Candida* 持続真菌血症に対して VRCZ を長期投与した症例から学んだこと**(P-062) 山岸 由佳、三嶋 廣繁
愛知医科大学大学院医学研究科感染制御学

9:19 ~ 9:54 一般演題「カンジダの基礎と臨床 (2)」

座長： 上西 秀則 (福岡歯科大学機能生物化学講座)

田辺 公一 (国立感染症研究所生物活性物質部第1室)

O2-2-1 病原因子のデータベース構築をめざした *Candida glabrata* の体系的遺伝子組換え体ライブラリーの作製 (P-064)

知花 博治¹、上野 圭吾^{1,2}、青山 俊弘³、中山 浩伸⁴、宇野 潤¹

¹千葉大学真菌医学研究センター病原機能分野カンジダフェノームプロジェクト、²(現在) 国立感染症研究所、³鈴鹿工業高等専門学校、⁴鈴鹿医療科学大学

O2-2-2 *Candida glabrata* 糖鎖合成酵素欠損株の性質および細胞壁の構造 (P-065)

柴田 信之¹、伊藤 文恵¹、田中 大¹、知花 博治²、大川 喜男¹

¹東北薬科大学感染生体防御学教室、²千葉大学真菌医学研究センター

O2-2-3 カルシニューリン阻害薬による *Candida albicans* 分泌性アスパラギン酸プロテアーゼ活性阻害 (P-066)

上原 千明、杉田 隆

明治薬大微生物

O2-2-4 *Candida albicans* の新規 HSP70 タンパク質 Msi3p は薬剤ストレス応答カルシニューリン経路の活性化に関わる (P-067)

永尾 潤一、長 環、今吉 理恵子、上西 秀則

福岡歯大感染生物

O2-2-5 補体 C5 欠損マウスを用いた CAWS 血管炎の検討 (P-068)

三浦 典子、石橋 健一、安達 禎之、大野 尚仁

東京薬大免疫

10:00 ~ 10:42 一般演題「カンジダの基礎と臨床 (3)」

座長： 阿部 美知子 (北里大学医療衛生学部医療検査学科)

西山 彌生 (帝京大学医真菌研究センター)

O2-3-1 ホルマリン固定パラフィン包埋組織を用いた病原酵母の遺伝子学的補助診断法の開発 (P-069)

中山 晴雄¹、篠崎 稔²、大久保 陽一郎²、笹井 大督²、職 珠玉²、若山 恵²、井手 忠²、根本 哲生²、村山 琮明³、渋谷 和俊²

¹東邦大第2脳神経外科、²東邦大学医学部病院病理学講座、³日本大学薬学部分子細胞学研究室

O2-3-2 *Candida albicans* に対する既存薬と抗真菌薬との併用効果についての検討 (P-070)

金子 幸弘、大野 秀明、宮崎 義継

国立感染症研究所生物活性物質部

O2-3-3 マウス口腔カンジダ症の N-acetylglucosamine (GlcNAc) による感染増悪 (P-071)

石島 早苗、羽山 和美、高橋 美貴、安部 茂

帝京大医真菌研究センター

O2-3-4 動物における膀胱カンジダ症の診断および治療の検討 (P-072)

村田 佳輝¹、佐野 文子²

¹むらた動物病院、²琉球大

O2-3-5 ガリウムの抗真菌活性に関する研究 (P-073)

工藤 奈都、豊留 孝仁、亀井 克彦

千葉大真菌セ臨床感染症

O2-3-6 MALDI-TOF MS による糸状菌同定のための前処理法最適化の検討およびデータベースの構築 (P-074)

林 美佳智、田村 俊、川上 小夜子、山崎 丘、佐藤 一郎、横村 浩一

帝京大宇宙環境医学

10:42～11:17 一般演題「クリプトコックスの基礎と臨床」

座長：大野 秀明（国立感染症研究所生物活性物質部）

生駒 憲広（東海大学皮膚科）

- O2-4-1** 標準化 MLST 解析法を用いたわが国のクリプトコックス属臨床分離株の分子疫学解析
(P-078) 梅山 隆、大野 秀明、田辺 公一、山越 智、宮崎 義継
国立感染研生物活性
- O2-4-2** 本邦初の北米流行型 *Cryptococcus gattii* 臨床分離株の実験的病原性解析
(P-079) 大野 秀明¹、田辺 公一¹、金子 幸弘¹、梅山 隆¹、山越 智¹、杉田 隆²、畠山 修司³、
亀井 克彦⁴、渋谷 和俊⁵、宮崎 義継¹
¹国立感染研生物活性、²明治薬大微生物、³東大病院感染症内科、⁴千葉大真菌医学研究センター、⁵東邦大病院病理
- O2-4-3** *Cryptococcus gattii* 感染症における病態解析
(P-080) 大久保 陽一郎、篠崎 稔、中山 晴雄、若山 恵、笹井 大督、石渡 誉郎、渋谷 和俊
東邦大病院病理
- O2-4-4** Wegener 肉芽腫症の患者にみられた皮膚クリプトコックス症の1例
(P-081) 比留間 梓¹、赤坂 江美子¹、加藤 正幸¹、生駒 憲広¹、田宮 紫穂¹、小澤 明¹、
田尻 さくら子²
¹東海大皮膚、²東海大呼吸器内科
- O2-4-5** イルカに発症したロボミコーシスの1例
(P-082) 佐野 文子¹、植田 啓一²、内田 詮三²
¹琉球大家畜衛生、²美ら海水族館

13:30～14:12 一般演題「トリコスポロン、マラセチアの基礎と臨床」

座長：杉田 隆（明治薬科大学 微生物学教室）

時松 一成（大分大学医学部 総合内科学 第二講座）

- O2-5-1** 次世代シーケンサーによる *Trichosporon asahii* JCM 2466 のドラフトゲノム解析
(P-084) 高島 昌子¹、杉田 隆²
¹理研 BRC-JCM、²明治薬科大学・微生物学
- O2-5-2** FLCZ 耐性 *Trichosporon asahii* のアゾール標的酵素遺伝子配列とアミノ酸変異の検討
(P-085) 串間 尚子¹、時松 一成¹、鳥羽 聡史¹、杉田 隆²、門田 淳一¹
¹大分大学医学部総合内科学第二講座、²明治薬科大学薬学部微生物学教室
- O2-5-3** アゾール耐性トリコスポロンに対する *in vivo* での L-AMB の有効性検討
(P-086) 笹井 大督¹、杉田 隆²、大久保 陽一郎¹、石渡 誉郎¹、島村 剛¹、篠崎 稔¹、若山 恵¹、
渋谷 和俊¹
¹東邦大病院病理学、²明治薬科微生物学
- O2-5-4** *Malassezia pachydermatis* のホスホリパーゼ遺伝子 (*Mp-PLB1*) の機能的発現
(P-087) 梶原 将、ジュンタッチャイ ウィーラポン
東工大院生命理工
- O2-5-5** 外耳道と足底に形成される特異な *Malassezia* 叢と新規なファイロタイプ
(P-088) 張 恩実^{1,2}、杉田 隆²、宮本 真由美²、田嶋 磨美²、西川 朱實³、坪井 良治¹
¹東京医大皮膚科、²明治薬大微生物、³明治薬大免疫生物
- O2-5-6** 抗真菌薬ラノコナゾールの脂漏性皮膚炎に対する実験的治療効果
(P-089) 梅 哲夫¹、松本 寛子¹、南條 育子¹、松本 貴裕¹、前田 潤¹、古賀 裕康¹、坪井 良治²
¹日本農業株式会社総合研究所毒性薬理グループ、²東京医大皮膚科

14:12 ~ 14:54 一般演題「アスペルギルスの基礎と臨床 (1)」

座長： 矢口 貴志 (千葉大学真菌医学研究センター)

梅山 隆 (国立感染症研究所生物活性物質部)

O2-6-1 アスペルギルス症原因菌 *Aspergillus lentulus* のテレオモルフの発見とそのアナモルフの多様性 (P-093)堀江 義一¹、松澤 哲宏¹、五ノ井 透¹、Abliz Paride²、Galba Takaki³、矢口 貴志¹¹千葉大真菌センター、²新疆医科大学、³カトリック大学ベルナンブコ校**O2-6-2** *Aspergillus fumigatus* の分泌蛋白質 B11 およびそのホモログの検出系と病原性について (P-094)

山越 智、梅山 隆、田辺 公一、金子 幸弘、橋本 ゆき、大野 秀明、宮崎 義継

国立感染研生物活性

O2-6-3 アスペルギルス症原因菌 *Aspergillus lentulus* のテレオモルフの遺伝的性質と薬剤感受性 (P-095)松澤 哲宏¹、堀江 義一¹、五ノ井 透¹、Abliz Paride²、Galba Takaki³、矢口 貴志¹¹千葉大・真菌センター、²新疆医科大学、³カトリック大学ベルナンブコ校**O2-6-4** 当科で分離された *Aspergillus fumigatus* の薬剤感受性と遺伝子学的解析 (P-096)田代 将人¹、泉川 公一¹、井手 昇太郎¹、平野 勝治¹、峰松 明日香¹、永吉 洋介¹、細萱 直希¹、三原 智¹、高園 貴弘¹、森永 芳智³、中村 茂樹¹、山本 和子¹、今村 圭文¹、宮崎 泰可¹、掛屋 弘¹、山本 善裕¹、柳原 克紀³、田代 隆良¹、河野 茂¹¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座 (第2内科)、²山梨大学医学部第二内科、³長崎大学病院検査部**O2-6-5** Gliotoxin 産生に関わる遺伝子による gliotoxin 感受性の検討 (P-097)王 丹霓¹、豊留 孝仁¹、亀井 克彦^{1,2}¹千葉大真菌七臨床感染症、²千葉大病院感染症管理治療部**O2-6-6** バイオフィルムを形成した *Aspergillus fumigatus* が抗真菌薬に対して示す感受性に関する研究 (P-098)烏仁 凶雅¹、豊留 孝仁¹、亀井 克彦^{1,2}¹千葉大真菌七臨床感染症、²千葉大病院感染症管理治療部

15:00 ~ 15:42 一般演題「アスペルギルスの基礎と臨床 (2)」

座長： 木村 雅友 (近畿大学医学部病理学教室)

渡辺 哲 (千葉大学真菌医学研究センター)

O2-7-1 急速に進展し予後不良となった慢性肺アスペルギルス症 3 例の検討 (P-100)守屋 敦子¹、安藤 常浩¹、熊坂 利夫²、武村 民子²、渋谷 和俊³¹日本赤十字社医療センター 感染症科、²日本赤十字社医療センター病理部、³東邦大病院病理**O2-7-2** 慢性アスペルギルス症の病理組織学的解析とバイオフィルム形成についての一考察 (P-101)安藤 常浩¹、守屋 敦子¹、熊坂 利夫²、武村 民子²、渋谷 和俊³¹日赤医療センター感染症科、²日赤医療センター病理部、³東邦大病院病理学講座**O2-7-3** 造血器悪性疾患化学療法後の好中球減少症に侵襲性肺真菌症を合併した例の血清診断マーカーと画像所見の推移 (P-102)尾畑 由美子^{1,2}、高田 徹^{1,2}、佐藤 栄一¹、田村 和夫¹¹福岡大腫瘍・血液・感染症内科、²福岡大学病院感染制御部**O2-7-4** 気管支内菌糸増殖が顕著で厚膜胞子を認めた気管支肺接合菌症の 1 剖検例 (P-103)木村 雅友¹、古田 朋子²、西村 和子³¹近畿大病理学、²南和歌山医療センター臨床検査科、³(株)ファーストラボラトリーズ**O2-7-5** *Penicillium* 属によるアレルギー性気管支肺真菌症の 1 例 (P-104)

押方 智也子、釣木澤 尚実、齋藤 明美、齋藤 博士、安枝 浩、秋山 一男

NHO 相模原病院臨床研究センター

O2-7-6 プロトテカ rDNA の構造と種同定における意義(P-105) 広瀬 教志^{1,2}、梅原 毅^{1,2}、三上 襄^{3,4}、宮治 誠^{1,4}、西村 和子^{1,4}、増田 道明¹¹獨協医大微生物、²日本ベクトン・ディッキンソン株式会社、³千葉大真菌医学研究センター、⁴株式会社ファーストラボラトリーズ**15:42 ~ 16:24 一般演題「深在性皮膚真菌症の基礎と臨床」**

座長： 岩津 都希雄 (岩津皮膚科医院)

松田 哲男 (松田ひふ科)

O2-8-1 Loop-Mediated Isothermal Amplification (LAMP) 法を用いたスポロトリコーシスの遺伝子診断(P-035) 辻 学¹、高原 正和¹、松田 哲男¹、竹井 賢二郎¹、中原 真希子²、佐藤 典子³、今福 信一³、古江 増隆¹¹九州大皮膚科、²九州中央病院皮膚科、³福岡大学医学部皮膚科学教室**O2-8-2 スポロトリコーシスの1例と当院のまとめ**

(P-036) 高瀬 孝子

高瀬皮膚科医院

O2-8-3 右第一指に嚢腫を形成した黒色菌糸症の1例

(P-037) 竹井 賢二郎、高原 正和、辻 学、加藤 しおり、松田 哲男、古江 増隆

九州大皮膚科

O2-8-4 顔面に生じた *Fonsecaea monophora* によるクロモブラストミコーシスの1例(P-038) 福田 俊平¹、楠原 正洋²、名嘉真 武国¹、橋本 隆¹¹久留米大皮膚科、²楠原皮膚科医院**O2-8-5 白血病男児に生じた disseminated Fusariosis の1例**(P-039) 高橋 秀典¹、熊切 正信¹、岩崎 博道²、望月 隆³¹福井大皮膚科、²福井大第一内科、³金沢医大皮膚科**O2-8-6 易感染性宿主に発見されたケタマカビ (*Chaetomium* 属) 感染症**(P-040) 平澤 祐輔¹、比留間 政太郎²、池田 志孝¹、菊池 賢³、佐野 文子⁴、矢口 貴志⁵¹順天大皮膚科、²順天大練馬病院皮膚科、³順天大総合診療科、⁴琉球大農学部亜熱帯地域農学科、⁵千葉大真菌医学研究センター**17:00 ~ 18:30 フェアウエル・パーティー 椿山荘タワー棟7F「つばき」**

特別なお挨拶はありません。20分間程お休みになってお帰り下さい。軽いワインとおつまみとピアノ演奏をご用意致します。

プログラム

一般演題 (ポスター発表)

10月21日(金) 17:40-19:00	E会場 タワー 5F「カトレア」 ポスター討論 (ポスターの前での発表はありません)
10月21日(金) 19:00-	懇親会会場 フォーシーズンズホテル 椿山荘 1F「ボールルーム」 ポスター賞授賞式

一般演題 (ポスター発表)

10月21日(金)～22日(土) E会場 タワー 5F「カトレア」

P-001 皮膚糸状菌検出試験紙の臨床応用について

○田邊 洋、東前 和奈
兵庫県立塚口病院皮膚科

P-002 ゲンチアナ紫の *Trichophyton* spp. に対する抗菌力

○山田 俊彦¹、近藤 成美¹、三澤 成毅²、川上 剛明²、小栗 豊子¹、大坂 顯通³、三井田 孝¹
¹順天堂大臨床検査医学、²順天堂医院臨床検査部、³順天堂大輸血・幹細胞制御学

P-003 外用抗真菌薬の殺菌活性の検討 - 標準化微量液体希釈法に準じた Neutral red 法の検討 -

○南條 育子¹、古賀 裕康¹、坪井 良治²
¹日本農薬株式会社総合研究所、²東京医科大皮膚科

P-004 *Arthroderma benhamiae* の NTS 領域の多型性に基づく分子疫学的検討

○竹田 公信¹、望月 隆^{1,2}、安澤 数史^{1,2,3}
¹金沢医大皮膚科、²金沢医大総合医学研究所皮膚真菌学研究部門-ノバルティスファーマー、
³金沢医大総合医学研究所皮膚真菌学研究部門-ノバルティスファーマー

P-005 *Arthroderma vanbreuseghemii* の核型解析

(O1-1-1) ○村山 琮明¹、山田 剛²、楨村 浩一²、星野 泰隆³
¹日本大分子細胞生物学、²帝京大医真菌研、³国立感染症研生物活性物質

P-006 白癬菌の菌糸伸長の自動解析の試み

(O1-1-2) ○八田 順子^{1,2}、畝田 道雄³、安澤 数史¹、望月 隆¹
¹金沢医大皮膚科、²医王病院皮膚科、³金沢工大機械工学科

P-007 主要抗真菌薬に対する各種爪・皮膚真菌症起因菌の *in vitro* 感受性と併用効果に関する検討

○田村 俊¹、浅原 美和¹、林 美佳智⁴、松村 充²、後藤 一雄²、楨村 浩一^{3,4}
¹帝京大大学院医療技術学研究科臨床検査学専攻、²帝京大医療技術学部臨床検査学科、³帝京大医真菌研究センター、
⁴帝京大大学院宇宙環境医学研究室

P-008 表在性白癬からのセロファン粘着テープによる簡易培養法

(O1-1-4) ○金子 健彦¹、三関 信夫²
¹同愛記念皮膚科、²同愛記念検査科

P-009 ポリプロピレン製小物収納用ケースを用いた簡便なスライド培養法

(O1-1-5) ○藤田 繁
藤田皮膚科クリニック

P-010 飼い猫 8 匹中 7 匹からも *Trichophyton mentagrophytes* が分離された、右胸の体部白癬

(O1-1-6) ○藤田 繁¹、望月 隆²
¹藤田皮膚科クリニック、²金沢医大環境皮膚科

- P-011** 女児に発症した *Trichophyton rubrum* によるケルスス禿瘡の1例
○竹之下 秀雄¹、安澤 数史²、望月 隆²
¹白河厚生総合病院、²金沢医科大学
- P-012** ウサギから感染した *Arthroderma vanbreuseghemii* による白癬の家族例
(O1-2-1) ○榮 仁子¹、野口 博光²、市之川 悠子³、比留間 政太郎³
¹寺尾病院皮膚科、²のぐち皮ふ科、³順天堂練馬病院皮膚・アレルギー科
- P-013** 高齢女性に生じたステロイド外用歴のない *Trichophyton rubrum* によるケルスス禿瘡の1例
(O1-2-2) ○小林 彩華、畑 康樹
済生会横浜市東部病院皮膚科
- P-014** ギニア人に生じた *T. rubrum* var. *raubitschekii* による頭部白癬の家族内感染例
(O1-2-3) ○比留間 翠¹、市ノ川 悠子¹、舟串 直子¹、貞政 裕子¹、比留間 政太郎¹、杉田 隆²
¹順天堂大練馬病院皮膚・アレルギー科、²明治薬科大学微生物学教室
- P-015** ネフローゼ症候群患者に生じた *Trichophyton rubrum* による白癬菌性膿瘍の1例
(O1-2-4) ○福山 國太郎
JA とりで総合医療センター皮膚科
- P-016** 白癬菌性肉芽腫の1例
(O1-2-5) ○保母 彩子、張 恩実、坪井 良治
東医大皮膚科
- P-017** 白癬疹の2例
(O1-2-6) ○竹中 基¹、吉崎 麻子¹、西本 勝太郎²
¹長崎大学病院皮膚科・アレルギー科、²日本海員救済会長崎病院
- P-018** *Trichophytin* より誘導されたマウス接触皮膚炎の解析
○中村 知矢¹、西部 明子²、望月 隆²
¹株式会社池田模範堂研究所薬理グループ、²金沢医科大学環境皮膚科
- P-019** 一大学女子柔道部における *Trichophyton tonsurans* 感染症
○坂元 とも子¹、安澤 数史¹、田邊 洋¹、望月 隆¹、豊本 貴嗣²
¹金沢医大皮膚科、²済生会高岡病院皮膚科
- P-020** 頭部白癬診断のための *Hairbrush* 培養法と *Cytobrush* 培養法の比較検討
○市之川 悠子¹、比留間 翠¹、舟串 直子¹、貞政 裕子¹、比留間 政太郎¹、小川 祐美²、
廣瀬 伸好³
¹順天堂大練馬、²順天堂大皮膚科、³順天堂大健康スポーツ
- P-021** *Trichophyton tonsurans* の NTS 領域の多型性に基づく分子疫学的検討
(O1-3-1) ○安澤 数史^{1,2}、望月 隆^{1,2}、坂元 とも子¹、田邊 洋¹、石崎 宏²
¹金沢医大皮膚科、²金沢医大皮膚真菌 (ノバルティスファーマ)
- P-022** *Trichophyton tonsurans* 感染症 10 年の推移
(O1-3-2) ○笠井 達也
笠井皮膚科

P-023 東京学生柔道連盟における *T. tonsurans* 感染症への取り組みとその成果
(O1-3-3) ○廣瀬 伸良、菅波 盛雄、田村 昌大、小川 祐美、比留間 政太郎
順天堂大柔道

P-024 *Trichophyton tonsurans* による急性深在性生毛部白癬の1例
(O1-3-4) ○下山 陽也¹、鈴木 智香子¹、篠田 大介¹、清 佳浩¹、横村 浩一²
¹帝京溝口皮膚科、²帝京大学医真菌センター

P-025 ウサギが関与した *Microsporum canis* による頭部および体部白癬の1例
(O1-3-5) ○山口 さやか、宮里 仁奈、平良 清人、細川 篤、高橋 健造、上里 博
琉球大皮膚科

P-026 野良ネコから感染した *Microsporum canis* による体部白癬の1例
(O1-3-6) ○室 繭子、張 恩実、坪井 良治
東京医大皮膚科

P-027 *Microsporum canis* による白癬の3例
○小林 憲¹、石崎 純子¹、洲崎 玲子¹、澤田 美月¹、二宮 淳也^{1,2}、田中 勝¹、原田 敬之¹、
畑 三恵子³
¹東京女子医科大学東医療センター皮膚科、²ながせ皮フ科、³高野医科クリニック

P-028 猫からの感染が考えられた *Microsporum canis* による体部白癬の姉妹例
○前田 修子、佐藤 麻紀、河野 克之、毛利 忍
横浜市立市民病院

P-029 膿皮症様の外観を呈した *Microsporum canis* による Celsus 禿瘡の1例
○辻本 友高
長岡赤十字病院皮膚科

P-030 爪白癬動物モデルを用いた肉眼的所見と病理組織所見との相関における検討
(O1-4-1) ○鈴木 琢¹、久保田 信雄²、島村 剛²、渋谷 和俊³
¹東邦大学医療センター大橋病院・皮膚科、²(株) ポーラファルマ医薬研究所、³東邦大学医学部病院病理学教室

P-031 *Aspergillus sydowii* による爪真菌症の1例
(O1-4-2) ○野口 博光¹、山田 理子¹、杉田 隆²、市之川 悠子³、比留間 政太郎³
¹のぐち皮ふ科、²明治薬科大微生物、³順天堂練馬病院皮膚・アレルギー科

P-032 *Fusarium verticillioides* による爪真菌症の2例
(O1-4-3) ○宮里 仁奈^{1,2}、山口 さやか²、細川 篤²、上里 博²
¹沖縄赤十字病院皮膚科、²琉球大皮膚科

P-033 足、爪白癬患者の生活背景アンケート調査
(O1-4-4) ○田宮 久詩¹、小林 裕美¹、柳原 茂人¹、金山 美恵²、中西 健史¹、石井 正光¹
¹大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学、²池田回生病院皮膚科

P-034 爪白癬に対する Nd:YAG レーザーの効果についての検討
(O1-4-5) ○木村 有太子¹、竹内 かおり¹、木下 綾子¹、高森 建二¹、須賀 康¹、比留間 政太郎²
¹順天堂大浦安皮膚科、²順天堂大練馬皮膚科

P-035 Loop-Mediated Isothermal Amplification (LAMP) 法を用いたスポロトリコーシスの
(O2-8-1) 遺伝子診断

○辻 学¹、高原 正和¹、松田 哲男¹、竹井 賢二郎¹、中原 真希子²、佐藤 典子³、
今福 信一³、古江 増隆¹

¹九州大皮膚科、²九州中央病院皮膚科、³福岡大学医学部皮膚科学教室

P-036 スポロトリコーシスの1例と当院のまとめ

(O2-8-2)

○高瀬 孝子

高瀬皮膚科医院

P-037 右第一指に嚢腫を形成した黒色菌糸症の1例

(O2-8-3)

○竹井 賢二郎、高原 正和、辻 学、加藤 しおり、松田 哲男、古江 増隆

九州大皮膚科

P-038 顔面に生じた *Fonsecaea monophora* によるクロモブラストミコーシスの1例

(O2-8-4)

○福田 俊平¹、楠原 正洋²、名嘉真 武国¹、橋本 隆¹

¹久留米大皮膚科、²楠原皮膚科医院

P-039 白血病男児に生じた disseminated Fusariosis の1例

(O2-8-5)

○高橋 秀典¹、熊切 正信¹、岩崎 博道²、望月 隆³

¹福井大皮膚科、²福井大第一内科、³金沢医大皮膚科

P-040 易感染性宿主に発見されたケタマカビ (*Chaetomium* 属) 感染症

(O2-8-6)

○平澤 祐輔¹、比留間 政太郎²、池田 志孝¹、菊池 賢³、佐野 文子⁴、矢口 貴志⁵

¹順天大皮膚科、²順天大練馬病院皮膚科、³順天大総合診療科、⁴琉球大農学部亜熱帯地域農学科、

⁵千葉大真菌医学研究センター

P-041 臀部に生じた原発性皮膚ノカルジア症の1例

○鈴木 智香子¹、篠田 大介¹、下山 陽也¹、早稲田 のぞみ¹、清 佳浩¹、松澤 哲宏²、

五ノ井 透²

¹帝京大 [溝口] 皮膚科、²千葉大学真菌医学研究センター微生物資源分野

P-042 趾間カンジダ症の2例

○加茂 真理子、杉浦 丹

静岡市立清水病院皮膚科

P-043 Microsatellite 解析に基づいたカンジダ症と *Candida albicans* genotype の関係

○高木 雄基¹、深野 英夫¹、田中 玲子²、矢口 貴志²、神戸 敏夫³

¹愛知学院大顎顔面外科、²千葉大真菌医学研究センター、³名古屋大神経疾患・腫瘍分子医学研究センター

P-044 *Candida glabrata* 由来温度感受性変異株を用いた必須遺伝子の分離・同定システムの
確立と応用

○竹川 大治、宮川 洋三

山梨大院生命工学

P-045 病原真菌 *Candida albicans* の核相変換関連遺伝子

○橋本 真帆¹、岩口 伸一¹、横山 耕治²、村山 琮明³、鈴木 孝仁¹

¹奈良女子大 理 生物学、²千葉大真菌医学研究センター、³日本大分子細胞生物学

P-046 種子培地による *Candida albicans* と *Candida dubliniensis* の集落様態と厚膜胞子形成による鑑別能の検討

○中本 幸子
鳥取大医保健学科

P-047 *Candida albicans* の交配能に関わる現象の再検討

○今西 由巳¹、李 厚敏²、田中 玲子¹、李 若瑜³、矢口 貴志¹
¹千葉大真菌センター、²北京大人民医院、³北京大医真菌センター

P-048 カンジダ・グラブラタの野生株およびキチンシンターゼ変異株のプロトプラスト再生に関する電子顕微鏡的研究

○山口 正視、上野 圭吾、大楠 美佐子、清水 公德、川本 進、知花 博治
千葉大真菌センター

P-049 β 結合型マンノースを欠失したカンジダマンナンは樹状細胞の炎症性サイトカイン産生を増強する

○大川原 明子¹、金城 雄樹¹、上野 圭吾¹、山越 智¹、梅山 隆¹、樽本 憲人¹、大野 秀明¹、新見 昌一²、宮崎 義継¹
¹国立感染研生物活性物質部、²オタゴ大口腔科学

P-050 *C. albicans* における培養条件とカタラーゼ、SOD の発現についての検討

○小笠原 雅彦、中川 善之
名古屋大分子標的治療学

P-051 *Candida glabrata* の細胞壁ストレス応答における Sit2 MAPK 経路の役割

○永吉 洋介、宮崎 泰可、森永 芳智、中村 茂樹、今村 圭文、泉川 公一、掛屋 弘、山本 善裕、柳原 克紀、田代 隆良、河野 茂
長崎大学病院第二内科

P-052 舌に対する *Candida dubliniensis* の感染に関与する因子と病原性に関する研究

○吉岡 裕雄¹、佐藤 洋介²、田中 彰³、久和 彰江⁴、中村 健次郎⁴、又賀 泉¹、二宮 一智³
¹日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座、²新潟県立中央病院、³日本歯科大学新潟病院口腔外科、⁴日本歯科大学新潟生命歯学部先端研究センター

P-053 アゾール耐性 *Candida albicans* を用いたマウス口腔カンジダ症に対するオリゴノールの効果

○羽山 和美¹、石島 早苗¹、高橋 美貴¹、北館 健太郎²、山崎 正利¹、安部 茂¹
¹帝京大医真菌、²株式会社アミノアップ化学

P-054 中鎖脂肪酸の *Candida* 菌糸形発育阻害作用と口腔カンジダ症治療効果

○高橋 美貴、羽山 和美、井上 重治、安部 茂
帝京大医真菌研究センター

P-055 植物精油のマウス口腔カンジダ症モデルにおける舌白苔症状に対する治療効果

○二宮 健太郎、羽山 和美、安部 茂
帝京大学医真菌研究センター

- P-056** *Candida albicans* 可溶性多糖画分 CAWS 投与マウス肝臓における遺伝子発現の網羅的解析
(O2-1-1) ○大野 尚仁、大村 崇、三浦 典子、石橋 健一、安達 禎之
東京薬科大学薬学部免疫学教室
- P-057** High calcium, ATP and poly (I:C) augment the immune response to β -glucan in human keratinocytes
(O2-1-2) ○ハウ カレン¹、多田 弥生²、柴田 彩¹、浦辻 秀弥¹、浅野 善英¹、菅谷 誠¹、門野 岳史¹、神田 奈緒子³、渡辺 晋一³、玉置 邦彦¹、佐藤 伸一¹
¹東京大学医学部皮膚科、²立正佼成会附属佼成病院皮膚科、³帝京大学医学部皮膚科
- P-058** ヒト白血球における β -グルカン応答性因子の検討
(O2-1-3) ○石橋 健一、三浦 典子、安達 禎之、大野 尚仁
東京薬大免疫
- P-059** 長崎大学病院における β -D-グルカン陽性例の検討
(O2-1-4) ○井手 昇太郎¹、泉川 公一¹、高園 貴弘¹、岩永 直樹¹、峰松 明日香¹、平野 勝治¹、田代 将人¹、永吉 洋介¹、細萱 直希¹、三原 智¹、森永 芳智²、中村 茂樹¹、今村 圭文¹、宮崎 泰可¹、掛屋 弘¹、山本 善裕¹、柳原 克紀²、田代 隆良¹、河野 茂¹
¹長崎大学大学院医歯薬総合研究科感染免疫学講座 (第2内科)、²長崎市立市民病院、³長崎大学病院検査部
- P-060** 北里大学病院における血液疾患患者の検出真菌と患者背景の関連についての検討
(O2-1-5) ○角田 裕子¹、高木 千鶴²、山口 登希子²、梅野 富輝³、高山 陽子¹、狩野 有作²、花木 秀明¹、東原 正明³、砂川 慶介¹、久米 光⁴
¹北里大学感染症対策チーム、²北里大学臨床検査部、³北里大学医学部血液内科、⁴北里大学医学部病理学
- P-061** 当院におけるポリコナゾール投与症例の副作用の検討
(O2-1-6) ○平野 勝治¹、泉川 公一¹、浜田 幸宏⁵、高園 貴弘²、井手 昇太郎¹、峰松 明日香¹、田代 将人¹、三原 智¹、森永 芳智³、中村 茂樹¹、今村 圭文¹、宮崎 泰可¹、掛屋 弘¹、山本 善裕¹、柳原 克紀³、田代 隆良⁴、河野 茂¹
¹長崎大学大学院医歯薬総合研究科感染免疫学講座 (第2内科)、²長崎市立市民病院内科、³長崎大学病院検査部、⁴長崎大学医学部保健学科、⁵北里大学東病院薬剤部
- P-062** *Candida* 持続真菌血症に対して VRCZ を長期投与した症例から学んだこと
(O2-1-7) ○山岸 由佳、三嶋 廣繁
愛知医科大学大学院医学研究科感染制御学
- P-063** 無脊椎動物 β -グルカン認識タンパク質の結合活性におけるグルカン構造特異性の解析
○安達 禎之、三浦 典子、石橋 健一、大野 尚仁
東京薬大免疫
- P-064** 病原因子のデータベース構築をめざした *Candida glabrata* の体系的遺伝子組換え体ライブラリーの作製
(O2-2-1) ○知花 博治¹、上野 圭吾^{1,2}、青山 俊弘³、中山 浩伸⁴、宇野 潤¹
¹千葉大学真菌医学研究センター病原機能分野カンジダフェノームプロジェクト、²(現在) 国立感染症研究所、³鈴鹿工業高等専門学校、⁴鈴鹿医療科学大学
- P-065** *Candida glabrata* 糖鎖合成酵素欠損株の性質および細胞壁の構造
(O2-2-2) ○柴田 信之¹、伊藤 文恵¹、田中 大¹、知花 博治²、大川 喜男¹
¹東北薬科大学感染生体防御学教室、²千葉大学真菌医学研究センター

- P-066** カルシニューリン阻害薬による *Candida albicans* 分泌性アスパラギン酸プロテアーゼ活性阻害
(O2-2-3) ○上原 千明、杉田 隆
明治薬大微生物
- P-067** *Candida albicans* の新規 HSP70 タンパク質 Msi3p は薬剤ストレス応答カルシニューリン経路の活性化に関わる
(O2-2-4) ○永尾 潤一、長 環、今吉 理恵子、上西 秀則
福岡歯大感染生物
- P-068** 補体 C5 欠損マウスを用いた CAWS 血管炎の検討
(O2-2-5) ○三浦 典子、石橋 健一、安達 禎之、大野 尚仁
東京薬大免疫
- P-069** ホルマリン固定パラフィン包埋組織を用いた病原酵母の遺伝子学的補助診断法の開発
(O2-3-1) ○中山 晴雄¹、篠崎 稔²、大久保 陽一郎²、笹井 大督²、職 珠玉²、若山 恵²、井手 忠²、根本 哲生²、村山 琮明³、渋谷 和俊²
¹東邦大第2脳神経外科、²東邦大学医学部病院病理学講座、³日本大学薬学部分子細胞学研究室
- P-070** *Candida albicans* に対する既存薬と抗真菌薬との併用効果についての検討
(O2-3-2) ○金子 幸弘、大野 秀明、宮崎 義継
国立感染症研究所生物活性物質部
- P-071** マウス口腔カンジダ症の N-acetylglucosamine (GlcNAc) による感染増悪
(O2-3-3) ○石島 早苗、羽山 和美、高橋 美貴、安部 茂
帝京大医真菌研究センター
- P-072** 動物における膀胱カンジダ症の診断および治療の検討
(O2-3-4) ○村田 佳輝¹、佐野 文子²
¹むらた動物病院、²琉球大
- P-073** ガリウムの抗真菌活性に関する研究
(O2-3-5) ○工藤 奈都、豊留 孝仁、亀井 克彦
千葉大真菌セ臨床感染症
- P-074** MALDI-TOF MS による糸状菌同定のための前処理法至適化の検討およびデータベースの構築
(O2-3-6) ○林 美佳智、田村 俊、川上 小夜子、山崎 丘、佐藤 一郎、横村 浩一
帝京大宇宙環境医学
- P-075** 長崎大学における *Cryptococcus* の Multilocus Sequence Typing (MLST) を用いた分子疫学調査
○三原 智¹、泉川 公一¹、井手 昇太郎¹、平野 勝治¹、峰松 明日香¹、細萱 直希¹、永吉 洋介¹、田代 将人¹、中村 茂樹¹、今村 圭文¹、宮崎 泰可¹、掛屋 弘¹、山本 善裕¹、柳原 克紀²、梅山 隆³、大野 秀明³、宮崎 義継³、田代 隆良¹、河野 茂¹
¹長崎大学感染免疫学講座、²長崎大学病院検査部、³国立感染症研究所生物活性物質部

P-076 渡航歴のない患者から分離された *Cryptococcus gattii* の遺伝子型解析○大楠 美佐子¹、竹川 啓史²、大楠 清文³、川本 進¹¹千葉大真菌センター、²神戸市立医療センター中央市民病院、³岐阜大大学院病原体制御学分野**P-077** 続発性皮膚クリプトコックス症の1例○鈴木 健晋¹、鈴木 陽子¹、富田 浩一¹、前田 明則²、杉田 隆³¹静岡市立静岡病院皮膚科、²静岡市立静岡病院血液内科、³明治薬科大微生物**P-078** 標準化 MLST 解析法を用いたわが国のクリプトコックス属臨床分離株の分子疫学解析
(O2-4-1) ○梅山 隆、大野 秀明、田辺 公一、山越 智、宮崎 義継

国立感染研生物活性

P-079 本邦初の北米流行型 *Cryptococcus gattii* 臨床分離株の実験的病原性解析(O2-4-2) ○大野 秀明¹、田辺 公一¹、金子 幸弘¹、梅山 隆¹、山越 智¹、杉田 隆²、畠山 修司³、
亀井 克彦⁴、渋谷 和俊⁵、宮崎 義継¹¹国立感染研生物活性、²明治薬大微生物、³東大病院感染症内科、⁴千葉大真菌医学研究センター、⁵東邦大病院病理**P-080** *Cryptococcus gattii* 感染症における病態解析(O2-4-3) ○大久保 陽一郎、篠崎 稔、中山 晴雄、若山 恵、笹井 大督、石渡 誉郎、渋谷 和俊
東邦大病院病理**P-081** Wegener 肉芽腫症の患者にみられた皮膚クリプトコックス症の1例(O2-4-4) ○比留間 梓¹、赤坂 江美子¹、加藤 正幸¹、生駒 憲広¹、田宮 紫穂¹、小澤 明¹、
田尻 さくら子²¹東海大皮膚、²東海大呼吸器内科**P-082** イルカに発症したロボミコーシスの1例(O2-4-5) ○佐野 文子¹、植田 啓一²、内田 詮三²¹琉球大家畜衛生、²美ら海水族館**P-083** *Trichosporon asahii* 多剤アゾール低感受性株における Rhodamine 6G 動態の検討

○鳥羽 聡史、串間 尚子、時松 一成、門田 淳一

大分大学医学部総合内科学第二講座

P-084 次世代シーケンサーによる *Trichosporon asahii* JCM 2466 のドラフトゲノム解析(O2-5-1) ○高島 昌子¹、杉田 隆²¹理研 BRC-JCM、²明治薬科大学・微生物学**P-085** FLCZ 耐性 *Trichosporon asahii* のアゾール標的酵素遺伝子配列とアミノ酸変異の検討(O2-5-2) ○串間 尚子¹、時松 一成¹、鳥羽 聡史¹、杉田 隆²、門田 淳一¹¹大分大学医学部総合内科学第二講座、²明治薬科大学薬学部微生物学教室**P-086** アゾール耐性トリコスポロンに対する *in vivo* での L-AMB の有効性検討(O2-5-3) ○笹井 大督¹、杉田 隆²、大久保 陽一郎¹、石渡 誉郎¹、島村 剛¹、篠崎 稔¹、若山 恵¹、
渋谷 和俊¹¹東邦大病院病理学、²明治薬科微生物学

P-087 *Malassezia pachydermatis* のホスホリパーゼ遺伝子 (*Mp-PLB1*) の機能的発現

(O2-5-4) ○梶原 将、ジュンタッチャイ ウィーラボン
東工大院生命理工

P-088 外耳道と足底に形成される特異な *Malassezia* 叢と新規なファイロタイプ

(O2-5-5) ○張 恩実^{1,2}、杉田 隆²、宮本 真由美²、田嶋 磨美²、西川 朱實³、坪井 良治¹
¹東京医大皮膚科、²明治薬大微生物、³明治薬大免疫生物

P-089 抗真菌薬ラノコナゾールの脂漏性皮膚炎に対する実験的治療効果

(O2-5-6) ○榎 哲夫¹、松本 寛子¹、南條 育子¹、松本 貴裕¹、前田 潤¹、古賀 裕康¹、坪井 良治²
¹日本農薬株式会社総合研究所毒性薬理グループ、²東京医大皮膚科

P-090 脂漏性皮膚炎に対するジンクピリチオン配合シャンプーの有用性の検討

○杉村 真理子¹、比留間 政太郎¹、比留間 翠^{1,2}、市之川 悠子¹、舟串 直子¹、貞政 裕子¹、杉田 隆³
¹順天大練馬皮膚科、²順天大皮膚科、³明治薬科大微生物

P-091 *Malassezia* による LPA レセプター刺激を介したヒトケラチノサイトの TSLP 産生

○石橋 芳雄¹、菅原 二陽¹、杉田 隆²、西川 朱實¹
¹明治薬大免疫生物、²明治薬大微生物

P-092 *Aspergillus fumigatus* 及びその関連菌の二次代謝産物解析ならびに薬剤感受性に関する検討

○田宮 浩之^{1,4}、落合 恵理¹、豊留 孝仁¹、渡辺 哲^{1,3}、矢口 貴志²、亀井 克彦^{1,3}
¹千葉大真菌センター臨床感染症、²千葉大真菌センターバイオリソース管理室、³千葉大病院感染症管理治療、⁴東大病院呼吸器内科

P-093 アスペルギルス症原因菌 *Aspergillus lentulus* のテレオモルフの発見とそのアナモルフの多様性

(O2-6-1) ○堀江 義一¹、松澤 哲宏¹、五ノ井 透¹、Abliz Paride²、Galba Takaki³、矢口 貴志¹
¹千葉大真菌センター、²新疆医科大学、³カトリック大学ペルナンブコ校

P-094 *Aspergillus fumigatus* の分泌蛋白質 B11 およびそのホモログの検出系と病原性について

(O2-6-2) ○山越 智、梅山 隆、田辺 公一、金子 幸弘、橋本 ゆき、大野 秀明、宮崎 義継
国立感染研生物活性

P-095 アスペルギルス症原因菌 *Aspergillus lentulus* のテレオモルフの遺伝的性質と薬剤感受性

(O2-6-3) ○松澤 哲宏¹、堀江 義一¹、五ノ井 透¹、Abliz Paride²、Galba Takaki³、矢口 貴志¹
¹千葉大・真菌センター、²新疆医科大学、³カトリック大学ペルナンブコ校

P-096 当科で分離された *Aspergillus fumigatus* の薬剤感受性と遺伝子学的解析

(O2-6-4) ○田代 将人¹、泉川 公一¹、井手 昇太郎¹、平野 勝治¹、峰松 明日香¹、永吉 洋介¹、細萱 直希¹、三原 智¹、高園 貴弘¹、森永 芳智³、中村 茂樹¹、山本 和子¹、今村 圭文¹、宮崎 泰可¹、掛屋 弘¹、山本 善裕¹、柳原 克紀³、田代 隆良¹、河野 茂¹
¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座 (第2内科)、²山梨大学医学部第二内科、³長崎大学病院検査部

P-097 Gliotoxin 産生に関わる遺伝子による gliotoxin 感受性の検討

(O2-6-5) ○王 丹霓¹、豊留 孝仁¹、亀井 克彦^{1,2}
¹千葉大真菌センター臨床感染症、²千葉大病院感染症管理治療部

- P-098** バイオフィルムを形成した *Aspergillus fumigatus* が抗真菌薬に対して示す感受性に関する研究
(02-6-6) ○烏仁 図雅¹、豊留 孝仁¹、亀井 克彦^{1,2}
¹千葉大真菌セ臨床感染症、²千葉大病院感染症管理治療部
- P-099** Mucoid impaction の内視鏡所見を呈した肺アスペルギルス症の一例
○高橋 英介
佐々木研究所附属杏雲堂病院呼吸器科
- P-100** 急速に進展し予後不良となった慢性肺アスペルギルス症 3 例の検討
(02-7-1) ○守屋 敦子¹、安藤 常浩¹、熊坂 利夫²、武村 民子²、渋谷 和俊³
¹日本赤十字社医療センター感染症科、²日本赤十字社医療センター病理部、³東邦大病院病理
- P-101** 慢性アスペルギルス症の病理組織学的解析とバイオフィルム形成についての一考察
(02-7-2) ○安藤 常浩¹、守屋 敦子¹、熊坂 利夫²、武村 民子²、渋谷 和俊³
¹日赤医療センター感染症科、²日赤医療センター病理部、³東邦大病院病理学講座
- P-102** 造血器悪性疾患化学療法後の好中球減少症に侵襲性肺真菌症を合併した例の血清診断マーカーと画像所見の推移
(02-7-3) ○尾畑 由美子^{1,2}、高田 徹^{1,2}、佐藤 栄一¹、田村 和夫¹
¹福岡大腫瘍・血液・感染症内科、²福岡大学病院感染制御部
- P-103** 気管支内菌糸増殖が顕著で厚膜胞子を認めた気管支肺接合菌症の 1 剖検例
(02-7-4) ○木村 雅友¹、古田 朋子²、西村 和子³
¹近畿大病理学、²南和歌山医療センター臨床検査科、³(株) ファーストラボラトリーズ
- P-104** *Penicillium* 属によるアレルギー性気管支肺真菌症の 1 例
(02-7-5) ○押方 智也子、釣木澤 尚実、齋藤 明美、齋藤 博士、安枝 浩、秋山 一男
NHO 相模原病院臨床研究センター
- P-105** プロトテカ rDNA の構造と種同定における意義
(02-7-6) ○広瀬 教志^{1,2}、梅原 毅^{1,2}、三上 襄^{3,4}、宮治 誠^{1,4}、西村 和子^{1,4}、増田 道明¹
¹獨協医大微生物、²日本バクトン・ディッキンソン株式会社、³千葉大真菌医学研究センター、⁴株式会社ファーストラボラトリーズ
- P-106** *Prototheca zopfii* genotype 2 に対する抗真菌薬剤の抗菌活性
○小野崎 正修、榎村 浩一、佐藤 一郎、長谷川 篤彦
帝京大学医真菌研究センター
- P-107** 日本とタイにおける遺伝子検出法を用いた環境生息ヒストプラスマ属の検出
○田辺 公一、大野 秀明、梅山 隆、山越 智、宮崎 義継
国立感染研生物活性物質部
- P-108** 東邦大学病理剖検例における深在性真菌症の過去 52 年間の発生動向について
○下平 佳代子¹、若山 恵¹、大久保 陽一郎¹、中山 晴雄¹、篠崎 稔¹、笹井 大督¹、石渡 誉郎¹、高橋 啓¹、石井 寿晴²、渋谷 和俊¹
¹東邦大病院病理学、²東邦大学病理学

P-109 *Fusarium* 属菌及び *Fusarium solani species complex* (FSSC) を検出・同定するリアルタイム PCR 法の開発研究

○村長 保憲¹、Trabasso Plinio²、Schreiber Angelica Z.²、Moretti Maria L.²、亀井 克彦¹
¹千葉大真菌医学研究センター、²State University of Campinas, Sao Paulo, Brazil

P-110 富山県における自然界からの *Curvularia* sp. の分離

○柳原 誠¹、河崎 昌子²、安澤 数史^{2,3}、石崎 宏³、望月 隆^{2,3}、宇田川 俊一⁴、佐藤 幸生⁵
¹真生会富山病院皮膚科、²金沢医科大学皮膚科、³金沢医科大学総医研皮膚真菌学研究部門（ノバルティスファーマ）、⁴日本食品分析センター、⁵富山県立大学 工学部

P-111 臨床材料より分離された *Conidiobolus* 属菌（ハエカビ目）の系統分類学的位置

○藤原 恵利子¹、三川 隆¹、遠藤 成朗¹、鈴木 真言¹、池田 文昭¹、矢口 貴志²
¹三菱化学メディエンス、²千葉大・真菌医学研究センター

P-112 コアラ鼻腔スミアから分離した担子菌酵母の分類

○佐藤 一郎、楨村 浩一
帝京大医真菌

P-113 国際宇宙ステーションに滞在する宇宙飛行士の身体真菌叢評価研究：Myco 中間報告

○山崎 丘¹、佐藤 一郎¹、山田 深²、杉田 隆³、楨村 浩一¹
¹帝京大学医真菌研究センター / 院・宇宙環境医学、²宇宙航空研究開発機構宇宙医学生物学研究室、³明治薬科大学微生物学教室

P-114 国際宇宙ステーション「きぼう」における微生物研究：Microbe-II 中間報告

○楨村 浩一^{1,2}、佐藤 一郎^{1,2}、西山 彌生²、杉田 隆³、高鳥 浩介⁴、山崎 丘^{1,2}
¹帝京大院宇宙環境医学、²帝京大医真菌研、³明治薬大、⁴カビ相談センター